

真庭市
子ども・子育て支援施設整備計画
(素案)

令和8年（2026年）〇月

真 庭 市

目 次

第1章 計画策定にあたって	1
第1 背景及び目的	1
第2 計画の位置づけ	1
第3 計画期間	1
第4 計画の対象範囲	1
第2章 現状と課題	2
第1 人口と年少人口の推移及び推計	2
第2 利用者数の状況	15
第3 幼児教育・保育施設の現状と課題	23
第4 つどいの広場の現状と課題	27
第3章 前計画に基づく取組の成果	28
第1 幼児教育・保育施設	28
第2 つどいの広場	28
第4章 真庭市の教育・保育目標	29
第5章 施設整備の基本的な計画・方針	33
第1 幼児教育・保育施設	33
第2 つどいの広場	38
第3 各地域の施設整備計画	39
第6章 施設整備費	40
第1 施設整備費の見通し	40
第7章 マネジメントの継続的運用方針	44
第1 情報基盤の整備と活用	44
第2 推進体制等の整備	45
第3 フォローアップ	46
第8章 参考資料 アンケート調査結果	47

第1章 計画策定にあたって

第1 背景及び目的

子どもたちは、真庭市の未来そのものであり、地域への誇りと世界への視野、未来への希望を持った子どもたちを育てていくことが真庭市の重要な責務であると考えています。

近年、共働きや核家族の増加等により、幼児教育・保育ニーズが多様化しているため、時代に即した教育・保育環境の整備が求められています。

本市の幼児教育・保育施設は、公立 18 施設（保育園 4 園（内 1 園休園中）、幼稚園 1 園（休園中）、認定こども園 13 園）のほかに、私立 2 施設（保育園 1 園、認定こども園 1 園）が設置されています。

公立施設には、建築後 30 年以上経過し老朽化が進んでいる施設や、入園児数が減少し、集団での教育・保育が困難な施設があり、施設の在り方が課題となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では令和 6(2024)年 3 月に「真庭市幼児教育・保育施設マネジメント基本方針」を策定し、施設の長寿命化や計画的な維持管理について基本的な考え方を示しました。

本計画はマネジメント基本方針で示された考え方に基づき、各地域・各施設の具体的な整備方針を明らかにし、計画的な施設整備を推進することを目的としています。

これにより、子どもたちが安心・安全に過ごせる質の高い教育・保育環境を確保するとともに、計画的な施設整備による財政負担の軽減・平準化を図ります。

第2 計画の位置づけ

この計画は真庭市総合計画の下、真庭市総合教育大綱、真庭市公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら令和 6(2024)年 3 月に策定した、真庭市幼児教育・保育施設マネジメント基本方針に基づく実施計画として位置付けられるものです。

第3 計画期間

本計画の期間は令和 8 (2026)年度から令和 12(2030)年度までの 5 年間の計画とします。

なお、計画期間中においても、社会情勢や教育・保育ニーズの変化等に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

第4 計画の対象範囲

計画の対象施設は、次のとおりとします。

1) 幼児教育・保育施設

幼稚園・保育園・認定こども園

2) 地域子育て支援拠点施設（以下「つどいの広場」という。）

公共施設や幼児教育・保育施設等を利用し、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談を実施する場所

第2章 現状と課題

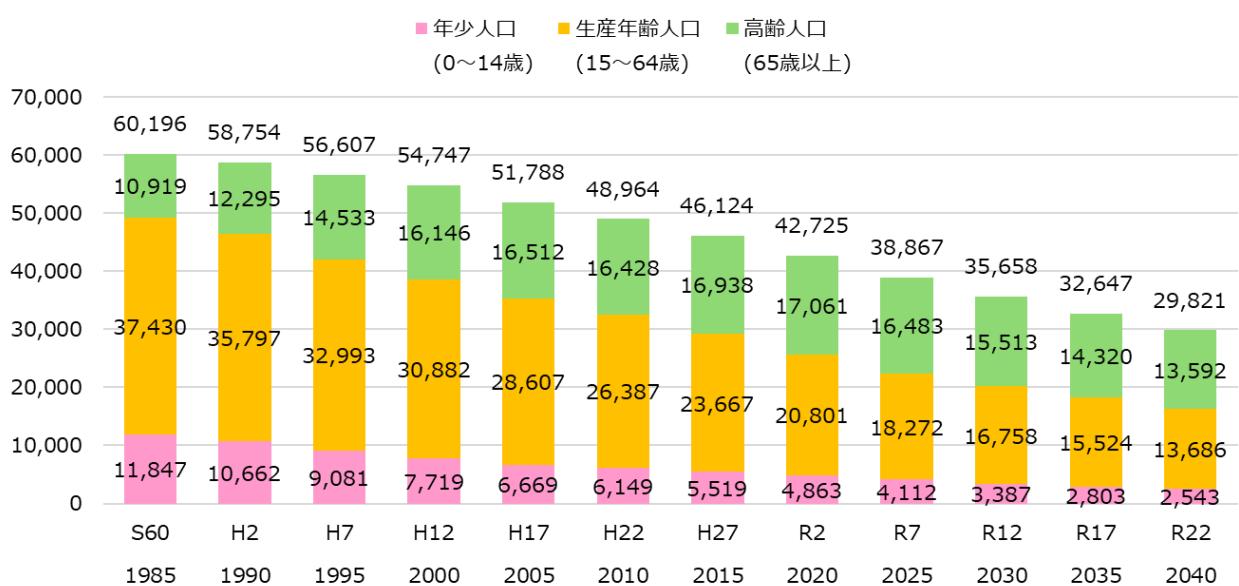
第1 人口と年少人口の推移及び推計

本市においても人口減少が続いており、平成17(2005)年の合併時には51,788人でしたが、令和2(2020)年には42,725人と9,063人減少となっており、今後も減少していくと推計されています。これに伴い、年少人口も減少が見込まれます。

[区分別人口の推移及び推計]

調査年度	総人口	年少人口 (0~14歳)		生産年齢人口 (15~64歳)		高齢人口 (65歳以上)		資料
		人口(人)	割合	人口(人)	割合	人口(人)	割合	
昭和60年 (1985年)	60,196	11,847	19.7%	37,430	62.2%	10,919	18.1%	国勢調査
平成2年 (1990年)	58,754	10,662	18.1%	35,797	60.9%	12,295	20.9%	
平成7年 (1995年)	56,607	9,081	16.0%	32,993	58.3%	14,533	25.7%	
平成12年 (2000年)	54,747	7,719	14.1%	30,882	56.4%	16,146	29.5%	
平成17年 (2005年)	51,788	6,669	12.9%	28,607	55.2%	16,512	31.9%	
平成22年 (2010年)	48,964	6,149	12.6%	26,387	53.9%	16,428	33.6%	
平成27年 (2015年)	46,124	5,519	12.0%	23,667	51.3%	16,938	36.7%	
令和2年 (2020年)	42,725	4,863	11.4%	20,801	48.7%	17,061	39.9%	
令和7年 (2025年)	38,867	4,112	10.6%	18,272	47.0%	16,483	42.4%	国立社会保障人口問題研究所
令和12年 (2030年)	35,658	3,387	9.5%	16,758	47.0%	15,513	43.5%	
令和17年 (2035年)	32,647	2,803	8.6%	15,524	47.6%	14,320	43.9%	
令和22年 (2040年)	29,821	2,543	8.5%	13,686	45.9%	13,592	45.6%	

[区分別人口の推移及び推計]



1) 就学前児童人口の見通し

① 1～5歳人口の推計

「コーホート変化率法」を用いて将来人口を推計しました。

コーホートとは、同年（または同期間）に出生した集団のことをいい、各コーホートにおける過去の変化率が将来も続くものと仮定して、その率を推計年度の前年度人口に掛けて将来の人口を求める方法です。

本計画の人口推計では、地域別の1～5歳人口から過去数年間の変化率(平均)を求め、令和8年(2026)度以降の人口は前年度人口に過去数年間の変化率(平均)を乗じて求めています。

② 0歳人口の推計

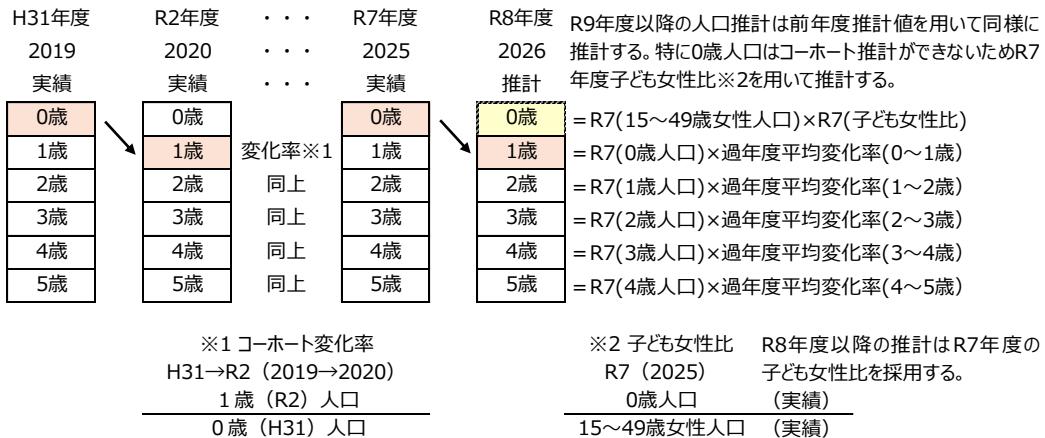
0歳人口はコーホート推計ができないため、令和7(2025)年度の子ども女性比「0歳人口÷15～49歳女性人口」を用いて推計しました。

令和8(2026)年以降の0歳人口は、当年度における「15～49歳女性人口推計値」に「令和7(2025)年度の子ども女性比」を乗じて求めています。

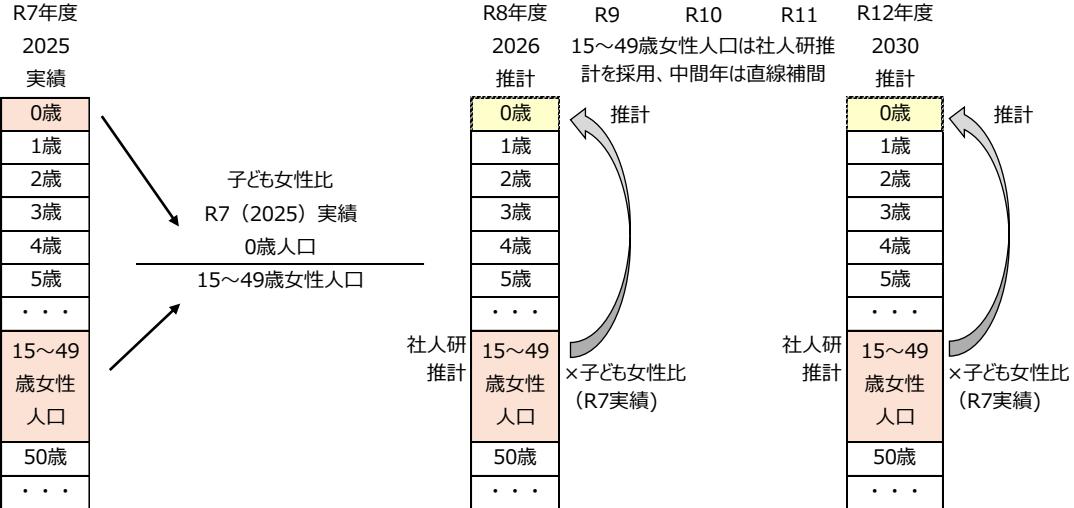
また、令和8(2026)年度以降の「15～49歳女性人口推計値」については、「国立社会保障・人口問題研究所」（社人研）が公表している真庭市の将来人口推計結果から15～49歳女性人口を採用し、令和2(2020)年国勢調査における地域別人口比を用いて各地域に按分し、さらに、社人研推計が5年ピッチの推計（令和7(2025)年、12(2030)年、17(2035)年）であることから中間年は直線補間で処理しました。

[人口推計の模式図]

● 1～5歳の人口推計



● 0歳人口の推計



社人研推計：「国立社会保障・人口問題研究所」
日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計

2) 各地域における 0 歳～5 歳の人口（実績）

地域	和暦	西暦	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
北房	H31	2019	19	26	30	39	29	43	186
	R2	2020	13	24	25	34	42	32	170
	R3	2021	18	17	23	26	33	43	160
	R4	2022	15	19	20	24	26	35	139
	R5	2023	17	17	17	20	24	27	122
	R6	2024	10	16	18	17	21	24	106
	R7	2025	14	9	17	17	17	20	94
落合	H31	2019	83	97	107	118	119	106	630
	R2	2020	66	85	101	105	115	120	592
	R3	2021	73	69	90	104	111	114	561
	R4	2022	77	86	72	94	103	111	543
	R5	2023	77	78	90	76	92	108	521
	R6	2024	66	81	80	94	80	92	493
	R7	2025	62	66	79	83	88	77	455
久世	H31	2019	80	95	78	97	84	69	503
	R2	2020	81	79	91	71	96	82	500
	R3	2021	89	86	82	88	69	99	513
	R4	2022	88	87	82	82	89	68	496
	R5	2023	59	89	84	78	82	90	482
	R6	2024	74	60	85	85	78	80	462
	R7	2025	51	64	58	80	89	78	420
勝山	H31	2019	41	36	35	32	48	44	236
	R2	2020	30	48	39	41	33	50	241
	R3	2021	40	28	47	38	43	31	227
	R4	2022	26	38	27	45	37	45	218
	R5	2023	22	23	37	25	45	38	190
	R6	2024	19	23	24	37	26	43	172
	R7	2025	20	17	24	24	40	28	153
美甘	H31	2019	2	0	1	2	4	4	13
	R2	2020	1	2	0	1	2	3	9
	R3	2021	0	1	2	0	1	2	6
	R4	2022	1	0	1	2	0	1	5
	R5	2023	3	1	0	1	2	0	7
	R6	2024	1	4	0	0	0	3	8
	R7	2025	1	3	4	0	0	1	9
湯原	H31	2019	7	12	10	12	15	10	66
	R2	2020	6	8	10	10	12	16	62
	R3	2021	7	6	8	10	9	11	51
	R4	2022	4	9	5	8	11	9	46
	R5	2023	5	3	9	5	7	11	40
	R6	2024	8	4	3	9	5	8	37
	R7	2025	9	8	4	3	9	5	38
蒜山	H31	2019	28	29	37	25	44	36	199
	R2	2020	20	29	29	40	26	44	188
	R3	2021	18	25	29	30	39	26	167
	R4	2022	12	18	25	30	30	37	152
	R5	2023	9	13	18	25	30	30	125
	R6	2024	17	10	14	18	25	32	116
	R7	2025	12	17	10	14	18	24	95

3) 各地域における 15 歳～49 歳女性人口 (R7(2025)年 10 月 1 日)

■真庭市地域ごとの15歳～49歳の女性人口 (R7.10.1現在)

年齢	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	蒜山	計
15歳	17	60	47	18	5	7	20	174
16歳	15	51	41	27	3	14	33	184
17歳	19	46	37	28	4	7	26	167
18歳	17	58	40	16	2	9	20	162
19歳	13	56	46	16	5	12	28	176
20歳	18	46	42	20	1	7	24	158
21歳	16	49	44	15	5	3	9	141
22歳	12	28	40	23	4	3	12	122
23歳	6	32	42	14	2	2	17	115
24歳	10	30	29	18	1	3	14	105
25歳	9	29	38	18	0	4	8	106
26歳	13	31	36	16	2	12	8	118
27歳	5	26	34	17	2	3	10	97
28歳	8	29	37	18	3	1	9	105
29歳	6	37	32	14	1	4	10	104
30歳	9	40	34	13	1	5	9	111
31歳	6	56	34	12	0	4	9	121
32歳	14	41	37	15	1	2	7	117
33歳	16	45	35	18	3	2	10	129
34歳	13	43	42	16	1	2	13	130
35歳	11	45	40	20	3	4	15	138
36歳	11	48	39	22	0	6	12	138
37歳	17	56	55	27	2	5	14	176
38歳	14	55	61	19	4	5	17	175
39歳	13	71	47	22	0	9	16	178
40歳	18	58	50	21	1	5	25	178
41歳	15	56	51	33	2	7	29	193
42歳	25	82	50	27	3	1	22	210
43歳	25	56	60	35	3	9	26	214
44歳	27	77	61	31	5	8	18	227
45歳	14	57	56	27	3	9	29	195
46歳	25	76	76	29	1	9	26	242
47歳	29	69	70	24	6	12	28	238
48歳	22	61	69	29	9	12	30	232
49歳	31	66	63	35	7	11	29	242
計	539	1,766	1,615	753	95	218	632	5,618

0歳男女総数と子ども女性比

地区	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	蒜山	計
0歳総数	14	62	51	20	1	9	12	169
子ども女性比	0.0260	0.0351	0.0316	0.0266	0.0105	0.0413	0.0190	0.0301

4) 真庭市における将来の女性 5 歳階級別推計人口

女性 総数	2020年		2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
	22,328		20,167	18,401	16,762	15,248	13,799	12,395
0~4歳	661		503	437	403	377	346	303
5~9歳	811		702	522	454	419	392	360
10~14歳	888		782	693	515	449	414	388
15~19歳	809		716	641	569	423	368	339
20~24歳	538		436	436	390	347	258	224
25~29歳	623		536	517	514	461	411	306
30~34歳	776		586	550	530	526	473	422
35~39歳	1,033		769	592	556	536	532	478
40~44歳	1,156		1,039	761	586	550	531	526
45~49歳	1,231		1,143	1,030	757	583	548	528
50~54歳	1,061		1,203	1,140	1,027	759	584	549
55~59歳	1,310		1,060	1,215	1,152	1,039	768	591
60~64歳	1,595		1,275	1,064	1,222	1,158	1,045	774
65~69歳	1,913		1,541	1,252	1,046	1,204	1,141	1,031
70~74歳	1,934		1,876	1,502	1,222	1,023	1,179	1,120
75~79歳	1,552		1,874	1,789	1,438	1,174	985	1,138
80~84歳	1,574		1,410	1,714	1,643	1,328	1,089	918
85~89歳	1,481		1,265	1,139	1,404	1,358	1,110	918
90~94歳	979		946	848	782	991	971	809
95歳~	403		505	559	552	543	654	673
15~49歳人口	6,166		5,225	4,527	3,902	3,426	3,121	2,823

※日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計 (国立社会保障・人口問題研究所)

地域別女性人口（15~49歳）（R 2年国勢調査）を基にした社人研推計人口の按分

女性	2020年	地域構成比	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
真庭市全体	6,139	1.0000	5,225	4,527	3,902	3,426	3,121	2,823
北房	560	0.0912	477	413	356	313	285	258
落合	1,911	0.3113	1,626	1,409	1,215	1,066	972	879
久世	1,796	0.2926	1,529	1,324	1,142	1,002	913	826
勝山	914	0.1489	778	674	581	510	465	420
美甘	87	0.0142	74	64	55	49	44	40
湯原	243	0.0396	207	179	154	136	124	112
蒜山	628	0.1023	535	463	399	350	319	289

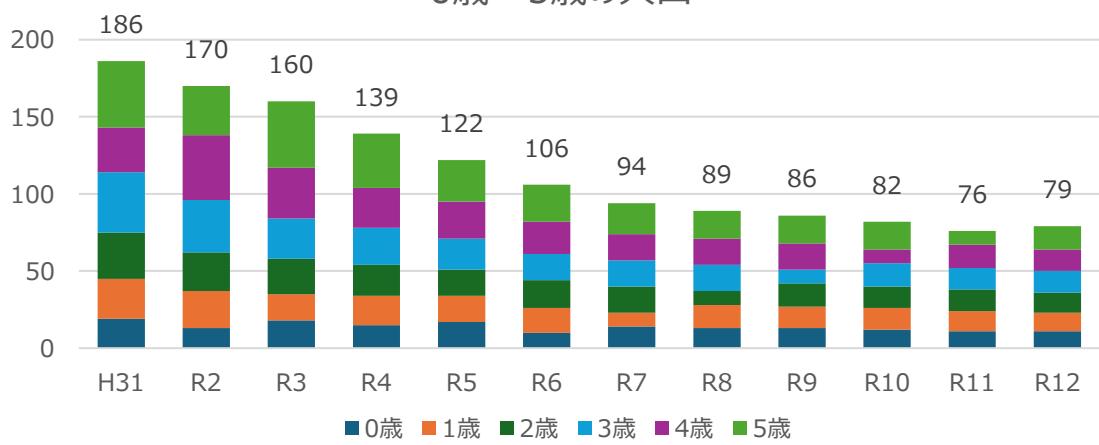
5) 就学前児童人口（0～5歳）の推計結果

① 北房地域

0歳～5歳の人口（R8（2026）以降は推計値）

北房		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	19	26	30	39	29	43	186
R2	2020	13	24	25	34	42	32	170
R3	2021	18	17	23	26	33	43	160
R4	2022	15	19	20	24	26	35	139
R5	2023	17	17	17	20	24	27	122
R6	2024	10	16	18	17	21	24	106
R7	2025	14	9	17	17	17	20	94
R8	2026	13	15	9	17	17	18	89
R9	2027	13	14	15	9	17	18	86
R10	2028	12	14	14	15	9	18	82
R11	2029	11	13	14	14	15	9	76
R12	2030	11	12	13	14	14	15	79
R13	2031	10	12	12	13	14	14	75
R14	2032	10	11	12	12	13	14	72
R15	2033	10	11	11	12	12	13	69
R16	2034	10	11	11	11	12	12	67
R17	2035	9	11	11	11	11	12	65

0歳～5歳の人口

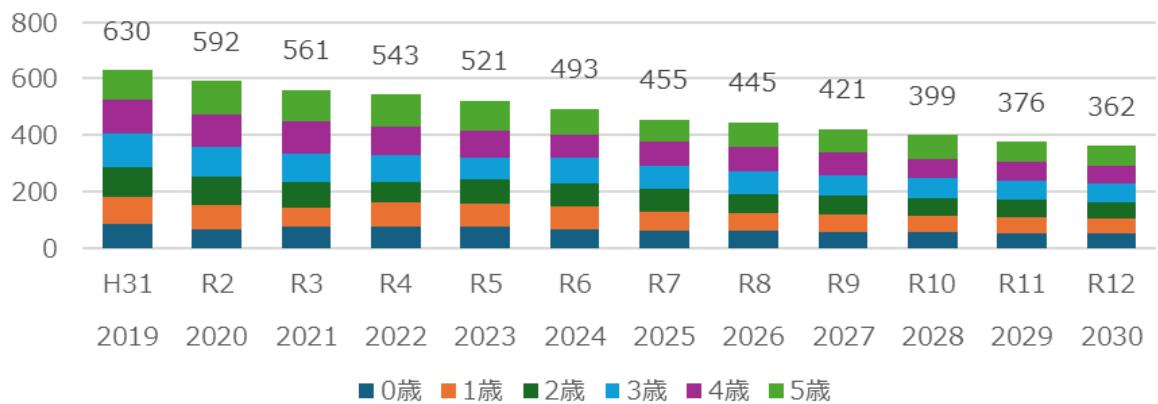


② 落合地域

0歳～5歳の人口 (R8 (2026) 以降は推計値)

落合		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	83	97	107	118	119	106	630
R2	2020	66	85	101	105	115	120	592
R3	2021	73	69	90	104	111	114	561
R4	2022	77	86	72	94	103	111	543
R5	2023	77	78	90	76	92	108	521
R6	2024	66	81	80	94	80	92	493
R7	2025	62	66	79	83	88	77	455
R8	2026	59	65	68	82	83	88	445
R9	2027	57	62	67	70	82	83	421
R10	2028	54	60	64	69	70	82	399
R11	2029	52	57	62	66	69	70	376
R12	2030	49	55	59	64	66	69	362
R13	2031	48	52	57	61	64	66	348
R14	2032	47	51	54	59	61	64	336
R15	2033	45	49	53	56	59	61	323
R16	2034	44	47	51	55	56	59	312
R17	2035	43	46	48	53	55	56	301

0歳～5歳の人口

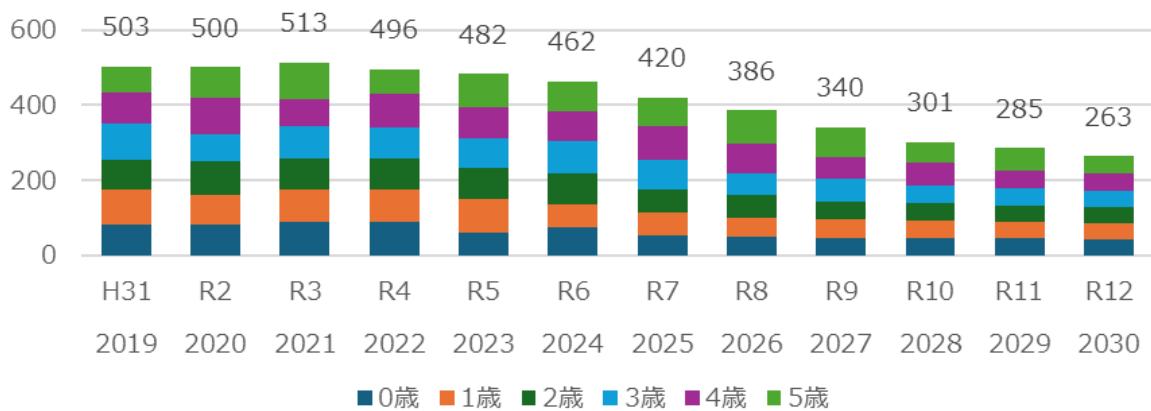


③ 久世地域

0歳～5歳の人口（R8（2026）以降は推計値）

久世		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	80	95	78	97	84	69	503
R2	2020	81	79	91	71	96	82	500
R3	2021	89	86	82	88	69	99	513
R4	2022	88	87	82	82	89	68	496
R5	2023	59	89	84	78	82	90	482
R6	2024	74	60	85	85	78	80	462
R7	2025	51	64	58	80	89	78	420
R8	2026	49	50	62	56	80	89	386
R9	2027	47	48	49	60	56	80	340
R10	2028	45	46	47	47	60	56	301
R11	2029	44	44	45	45	47	60	285
R12	2030	42	43	43	43	45	47	263
R13	2031	41	41	42	41	43	45	253
R14	2032	40	40	40	40	41	43	244
R15	2033	38	39	39	39	40	41	236
R16	2034	37	37	38	38	39	40	229
R17	2035	36	37	36	37	38	39	223

0歳～5歳の人口



④ 勝山地域

0歳～5歳の人口 (R8 (2026) 以降は推計値)

勝山		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	41	36	35	32	48	44	236
R2	2020	30	48	39	41	33	50	241
R3	2021	40	28	47	38	43	31	227
R4	2022	26	38	27	45	37	45	218
R5	2023	22	23	37	25	45	38	190
R6	2024	19	23	24	37	26	43	172
R7	2025	20	17	24	24	40	28	153
R8	2026	20	20	17	24	25	41	147
R9	2027	19	20	20	17	25	25	126
R10	2028	19	19	20	20	17	25	120
R11	2029	18	19	19	20	21	17	114
R12	2030	18	18	19	19	21	21	116
R13	2031	17	18	18	19	20	21	113
R14	2032	17	17	18	18	20	20	110
R15	2033	16	17	17	18	19	20	107
R16	2034	16	16	17	17	19	19	104
R17	2035	15	16	16	17	17	19	100

0歳～5歳の人口

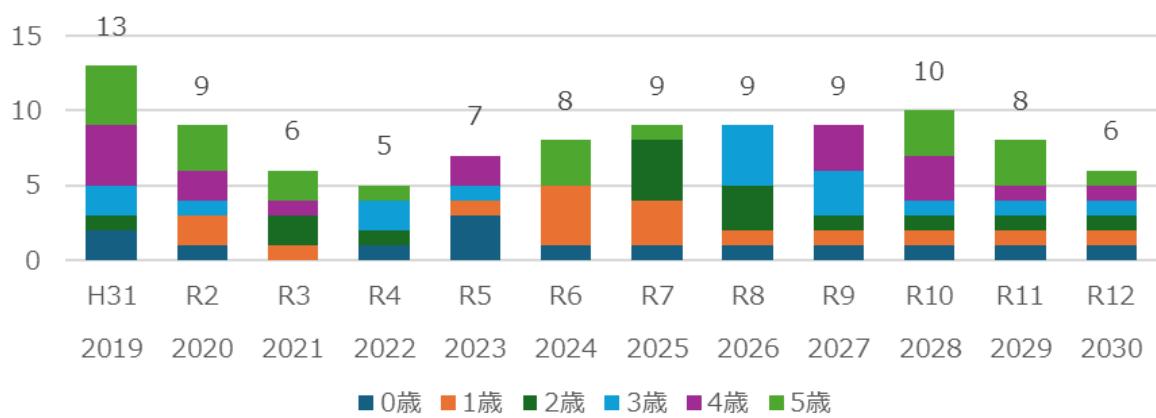


⑤ 美甘地域

0歳～5歳の人口（R8（2026）以降は推計値）

美甘		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	2	0	1	2	4	4	13
R2	2020	1	2	0	1	2	3	9
R3	2021	0	1	2	0	1	2	6
R4	2022	1	0	1	2	0	1	5
R5	2023	3	1	0	1	2	0	7
R6	2024	1	4	0	0	0	3	8
R7	2025	1	3	4	0	0	1	9
R8	2026	1	1	3	4	0	0	9
R9	2027	1	1	1	3	3	0	9
R10	2028	1	1	1	1	3	3	10
R11	2029	1	1	1	1	1	3	8
R12	2030	1	1	1	1	1	1	6
R13	2031	1	1	1	1	1	1	6
R14	2032	1	1	1	1	1	1	6
R15	2033	1	1	1	1	1	1	6
R16	2034	1	1	1	1	1	1	6
R17	2035	1	1	1	1	1	1	6

0歳～5歳の人口

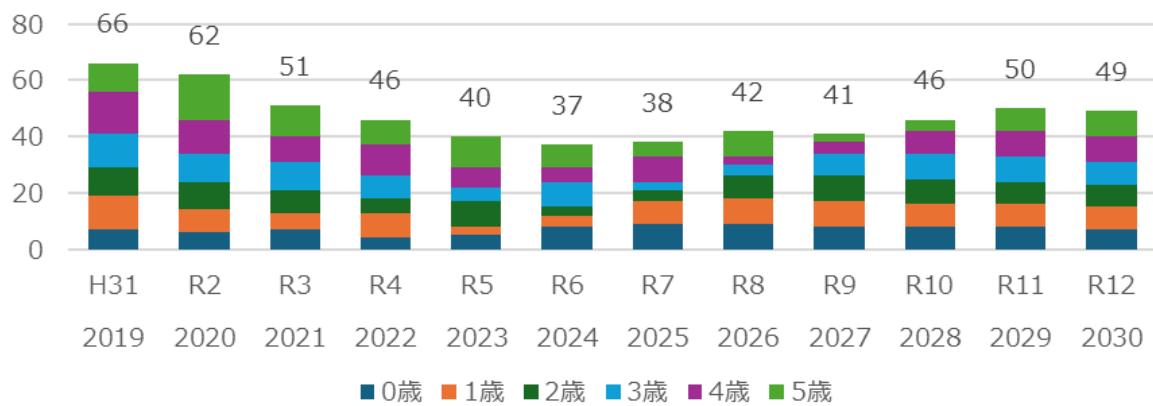


⑥ 湯原地域

0歳～5歳の人口 (R8 (2026) 以降は推計値)

湯原		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	7	12	10	12	15	10	66
R2	2020	6	8	10	10	12	16	62
R3	2021	7	6	8	10	9	11	51
R4	2022	4	9	5	8	11	9	46
R5	2023	5	3	9	5	7	11	40
R6	2024	8	4	3	9	5	8	37
R7	2025	9	8	4	3	9	5	38
R8	2026	9	9	8	4	3	9	42
R9	2027	8	9	9	8	4	3	41
R10	2028	8	8	9	9	8	4	46
R11	2029	8	8	8	9	9	8	50
R12	2030	7	8	8	8	9	9	49
R13	2031	7	7	8	8	8	9	47
R14	2032	7	7	7	8	8	8	45
R15	2033	7	7	7	7	8	8	44
R16	2034	7	7	7	7	7	8	43
R17	2035	6	7	7	7	7	7	41

0歳～5歳の人口

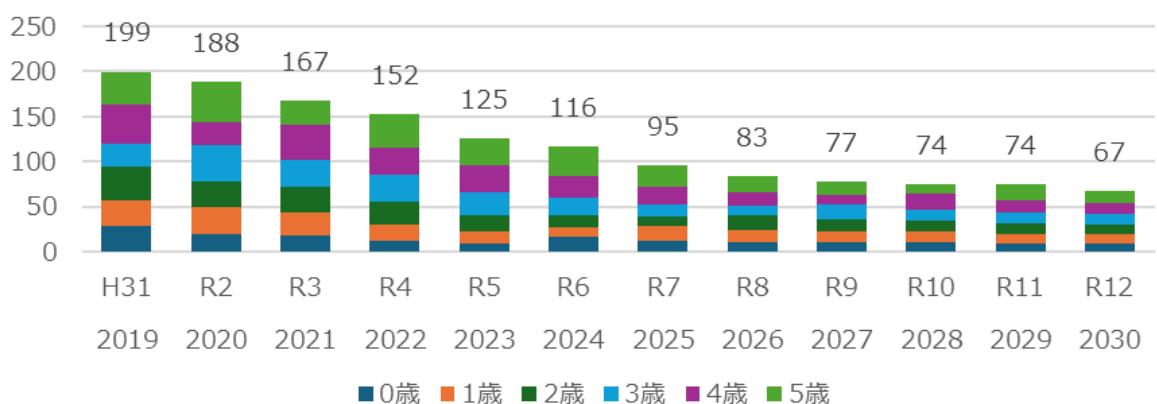


⑦ 蒜山地域

0歳～5歳の人口 (R8 (2026) 以降は推計値)

蒜山		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	28	29	37	25	44	36	199
R2	2020	20	29	29	40	26	44	188
R3	2021	18	25	29	30	39	26	167
R4	2022	12	18	25	30	30	37	152
R5	2023	9	13	18	25	30	30	125
R6	2024	17	10	14	18	25	32	116
R7	2025	12	17	10	14	18	24	95
R8	2026	11	13	17	10	14	18	83
R9	2027	11	12	13	17	10	14	77
R10	2028	10	12	12	13	17	10	74
R11	2029	9	11	12	12	13	17	74
R12	2030	9	10	11	12	12	13	67
R13	2031	9	10	10	11	12	12	64
R14	2032	8	10	10	10	11	12	61
R15	2033	8	9	10	10	10	11	58
R16	2034	8	9	9	10	10	10	56
R17	2035	8	9	9	9	10	10	55

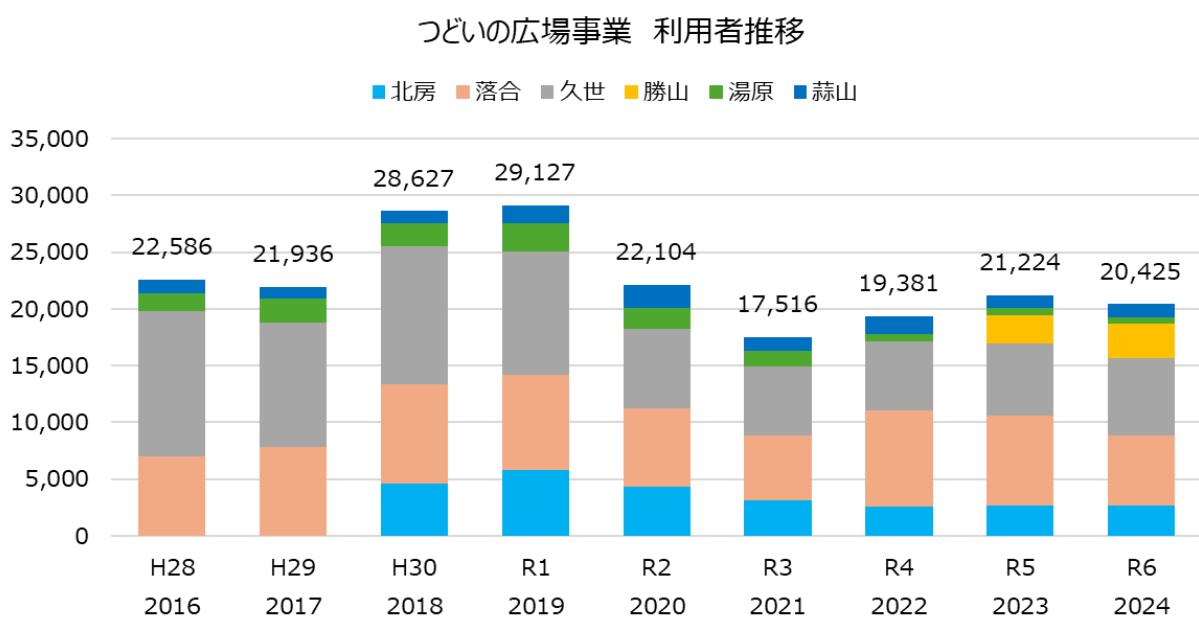
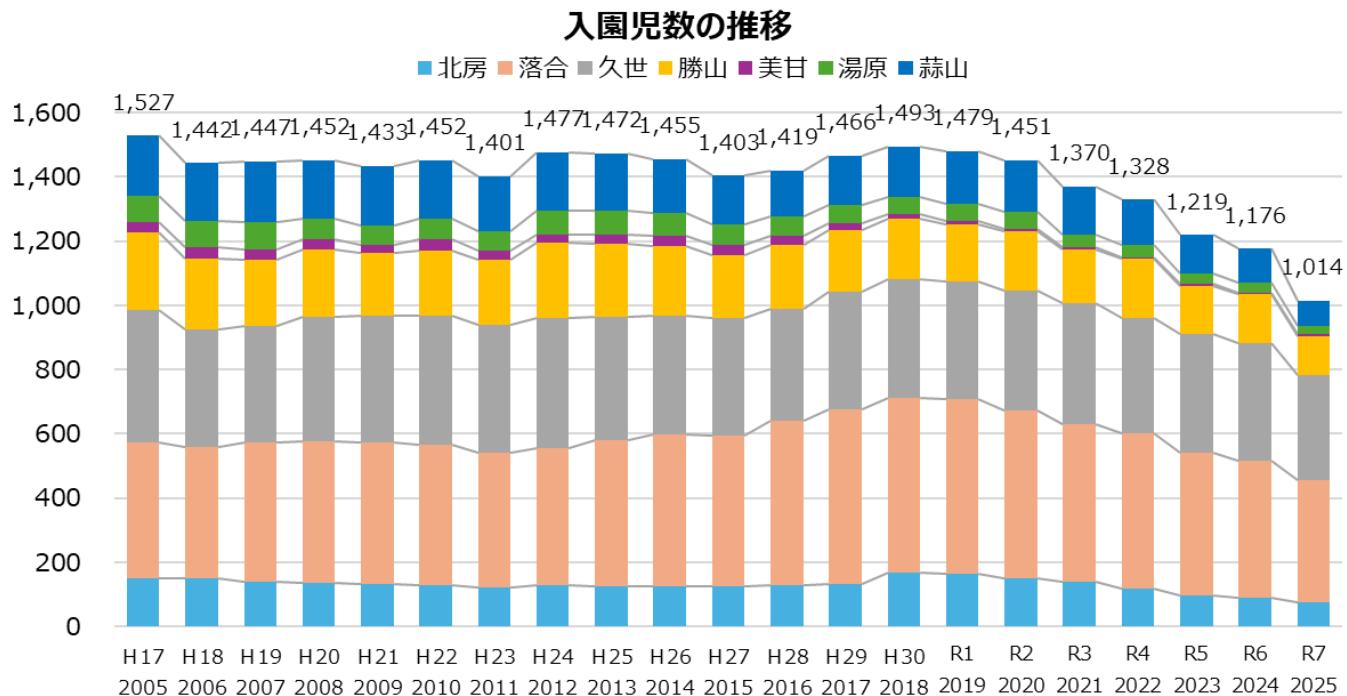
0歳～5歳の人口



第2 利用者数の状況

本市では、人口減少に伴い平成30(2018)年度をピークに入園児数は減少傾向にあり、特にここ数年の減少幅が大きくなっています。

しかし、入園児数が横ばいであったり、大幅に減少していたりと、地域や施設によって状況が異なっています。



1) 入園者数の推計結果

① 北房地域

入園者数 (R8 (2026) 以降は推計値)

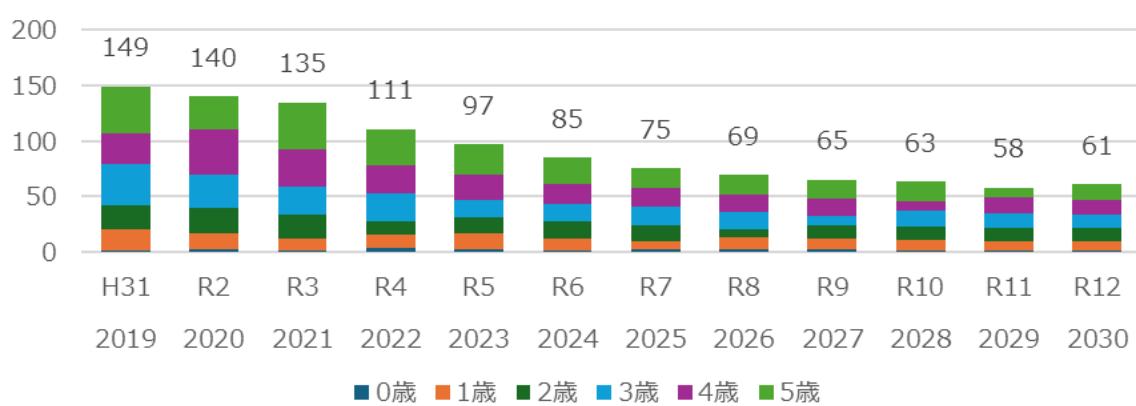
北房		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	1	19	22	37	28	42	149
R2	2020	2	15	22	30	41	30	140
R3	2021	1	11	22	25	33	43	135
R4	2022	3	12	13	25	25	33	111
R5	2023	2	15	14	16	23	27	97
R6	2024	1	11	16	15	18	24	85
R7	2025	2	8	14	17	17	17	75
R8	2026	2	11	7	16	16	17	69
R9	2027	2	10	12	8	16	17	65
R10	2028	1	10	12	14	9	17	63
R11	2029	1	9	12	13	14	9	58
R12	2030	1	9	11	13	13	14	61
R13	2031	1	9	10	12	13	13	58
R14	2032	1	8	10	11	12	13	55
R15	2033	1	8	9	11	12	12	53
R16	2034	1	8	9	10	12	11	51
R17	2035	1	8	9	10	11	11	50

入園者数の推計は、0歳～5歳人口に占める入園者の比率（各年齢の実績平均）を0歳～5歳人口推計値にそれぞれ乗じて求めた。

入園率：0歳～5歳の人口に占める入園者数の比率（実績）

北房		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0.05	0.73	0.73	0.95	0.97	0.98	0.80
R2	2020	0.15	0.63	0.88	0.88	0.98	0.94	0.82
R3	2021	0.06	0.65	0.96	0.96	1.00	1.00	0.84
R4	2022	0.20	0.63	0.65	1.04	0.96	0.94	0.80
R5	2023	0.12	0.88	0.82	0.80	0.96	1.00	0.80
R6	2024	0.10	0.69	0.89	0.88	0.86	1.00	0.80
R7	2025	0.14	0.89	0.82	1.00	1.00	0.85	0.80
平均		0.12	0.73	0.82	0.93	0.96	0.96	0.81

入園者数



② 落合地域

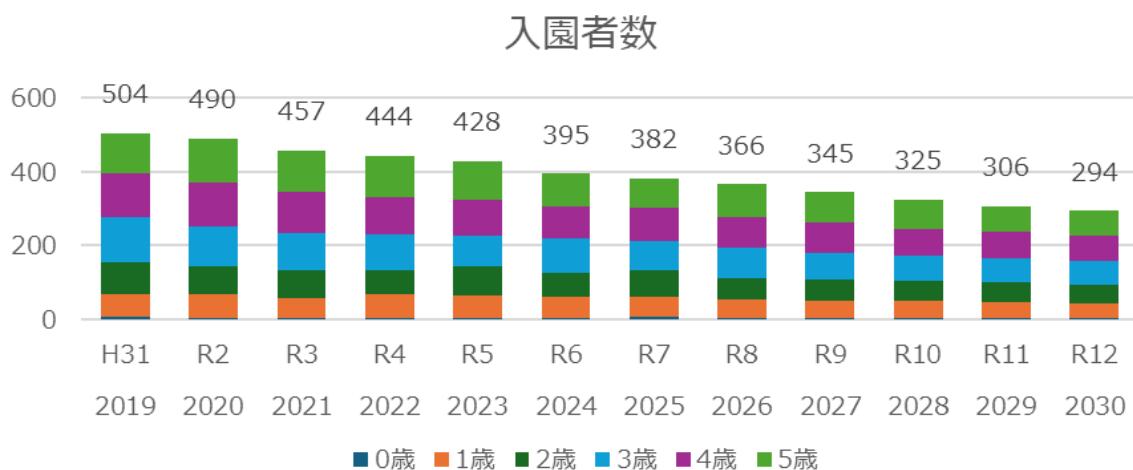
入園者数 (R8 (2026) 以降は推計値)

落合		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	6	62	85	122	122	107	504
R2	2020	1	65	78	109	116	121	490
R3	2021	2	56	74	101	113	111	457
R4	2022	4	65	65	95	102	113	444
R5	2023	2	63	80	82	95	106	428
R6	2024	2	57	68	93	85	90	395
R7	2025	8	51	73	81	88	81	382
R8	2026	3	49	58	83	85	88	366
R9	2027	3	47	57	71	84	83	345
R10	2028	3	45	54	70	71	82	325
R11	2029	3	43	53	67	70	70	306
R12	2030	2	41	50	65	67	69	294
R13	2031	2	39	48	62	65	66	282
R14	2032	2	38	46	60	62	64	272
R15	2033	2	37	45	57	60	61	262
R16	2034	2	35	43	56	57	59	252
R17	2035	2	35	41	54	56	56	244

入園者数の推計は、0歳～5歳人口に占める入園者の比率（各年齢の実績平均）を0歳～5歳人口推計値にそれぞれ乗じて求めた。

入園率：0歳～5歳の人口に占める入園者数の比率（実績）

落合		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0.07	0.64	0.79	1.03	1.03	1.01	0.80
R2	2020	0.02	0.76	0.77	1.04	1.01	1.01	0.83
R3	2021	0.03	0.81	0.82	0.97	1.02	0.97	0.81
R4	2022	0.05	0.76	0.90	1.01	0.99	1.02	0.82
R5	2023	0.03	0.81	0.89	1.08	1.03	0.98	0.82
R6	2024	0.03	0.70	0.85	0.99	1.06	0.98	0.80
R7	2025	0.13	0.77	0.92	0.98	1.00	1.05	0.84
平均		0.05	0.75	0.85	1.01	1.02	1.00	0.82



③ 久世地域

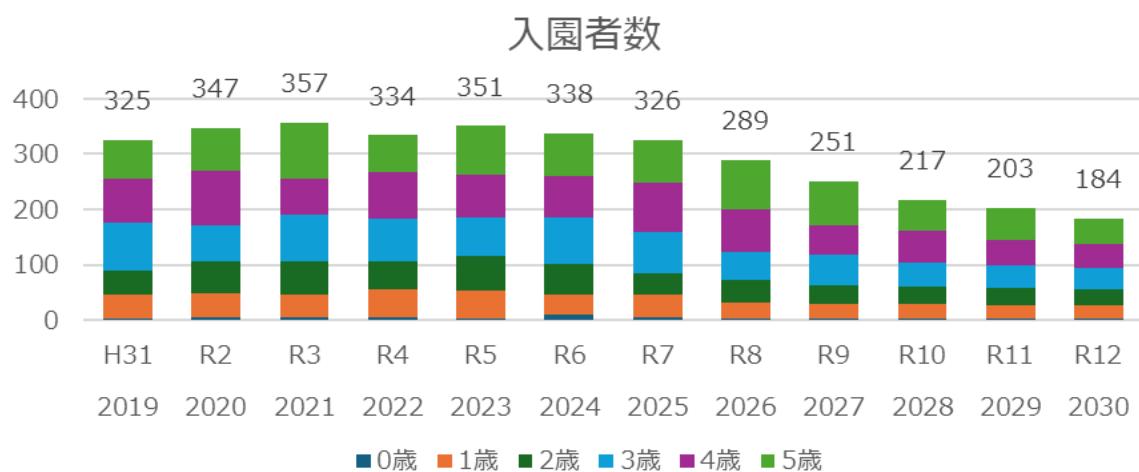
入園者数 (R8 (2026) 以降は推計値)

久世		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	2	43	45	87	79	69	325
R2	2020	6	42	58	64	99	78	347
R3	2021	6	41	59	84	66	101	357
R4	2022	5	51	50	76	86	66	334
R5	2023	3	50	63	70	76	89	351
R6	2024	9	38	55	83	74	79	338
R7	2025	5	41	38	76	88	78	326
R8	2026	3	28	41	52	77	88	289
R9	2027	3	27	32	56	54	79	251
R10	2028	3	26	31	44	58	55	217
R11	2029	3	24	30	42	45	59	203
R12	2030	3	24	28	40	43	46	184
R13	2031	3	23	28	38	42	44	178
R14	2032	3	22	26	37	40	42	170
R15	2033	3	22	26	36	39	41	167
R16	2034	3	21	25	35	38	40	162
R17	2035	3	21	24	34	37	39	158

入園者数の推計は、0歳～5歳人口に占める入園者の比率（各年齢の実績平均）を0歳～5歳人口推計値にそれぞれ乗じて求めた。

入園率：0歳～5歳の人口に占める入園者数の比率（実績）

久世		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0.03	0.45	0.58	0.90	0.94	1.00	0.65
R2	2020	0.07	0.53	0.64	0.90	1.03	0.95	0.69
R3	2021	0.07	0.48	0.72	0.95	0.96	1.02	0.70
R4	2022	0.06	0.59	0.61	0.93	0.97	0.97	0.67
R5	2023	0.05	0.56	0.75	0.90	0.93	0.99	0.73
R6	2024	0.12	0.63	0.65	0.98	0.95	0.99	0.73
R7	2025	0.10	0.64	0.66	0.95	0.99	1.00	0.78
平均		0.07	0.55	0.66	0.93	0.97	0.99	0.71



④ 勝山地域

入園者数 (R8 (2026) 以降は推計値)

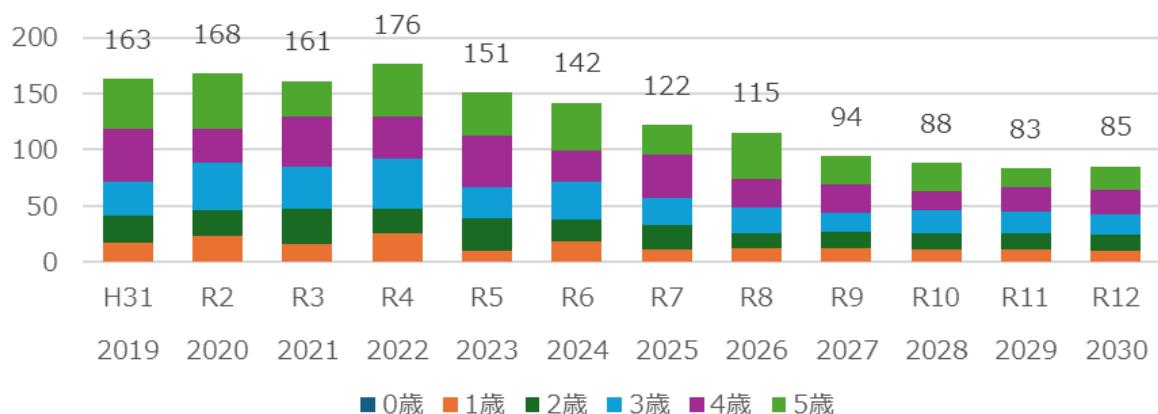
勝山		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0	17	24	30	48	44	163
R2	2020	0	23	23	42	31	49	168
R3	2021	0	16	31	38	45	31	161
R4	2022	0	26	21	45	38	46	176
R5	2023	0	10	29	27	46	39	151
R6	2024	0	18	19	35	27	43	142
R7	2025	0	11	22	24	38	27	122
R8	2026	0	12	13	24	25	41	115
R9	2027	0	12	15	17	25	25	94
R10	2028	0	11	15	20	17	25	88
R11	2029	0	11	14	20	21	17	83
R12	2030	0	10	14	19	21	21	85
R13	2031	0	10	13	19	20	21	83
R14	2032	0	10	13	18	20	20	81
R15	2033	0	10	13	18	19	20	80
R16	2034	0	9	13	17	19	19	77
R17	2035	0	9	12	17	17	19	74

入園者数の推計は、0歳～5歳人口に占める入園者の比率（各年齢の実績平均）を0歳～5歳人口推計値にそれぞれ乗じて求めた。

入園率：0歳～5歳の人口に占める入園者数の比率（実績）

勝山		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0.00	0.47	0.69	0.94	1.00	1.00	0.69
R2	2020	0.00	0.48	0.59	1.02	0.94	0.98	0.70
R3	2021	0.00	0.57	0.66	1.00	1.05	1.00	0.71
R4	2022	0.00	0.68	0.78	1.00	1.03	1.02	0.81
R5	2023	0.00	0.43	0.78	1.08	1.02	1.03	0.79
R6	2024	0.00	0.78	0.79	0.95	1.04	1.00	0.83
R7	2025	0.00	0.65	0.92	1.00	0.95	0.96	0.80
平均		0.00	0.58	0.74	1.00	1.00	1.00	0.76

入園者数



⑤ 美甘地域

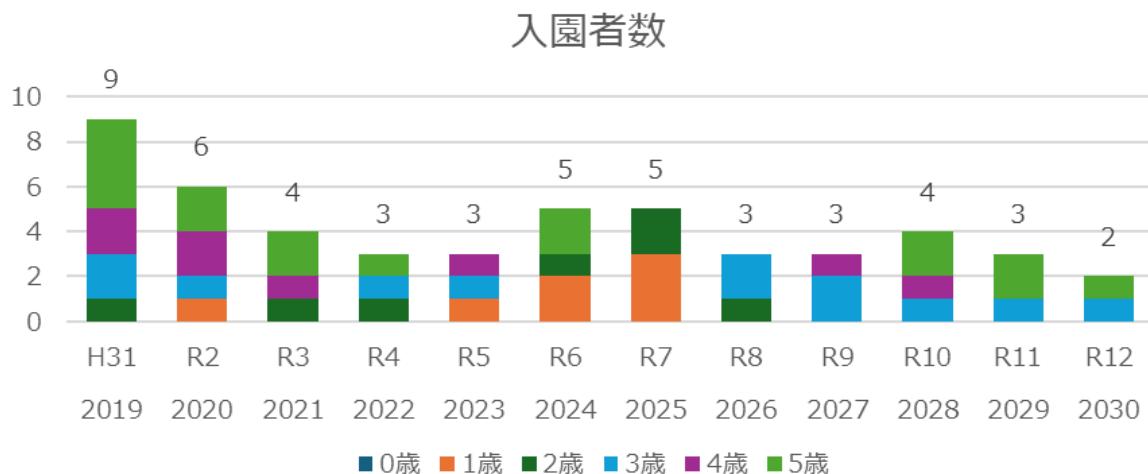
入園者数 (R8 (2026) 以降は推計値)

美甘		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0	0	1	2	2	4	9
R2	2020	0	1	0	1	2	2	6
R3	2021	0	0	1	0	1	2	4
R4	2022	0	0	1	1	0	1	3
R5	2023	0	1	0	1	1	0	3
R6	2024	0	2	1	0	0	2	5
R7	2025	0	3	2	0	0	0	5
R8	2026	0	0	1	2	0	0	3
R9	2027	0	0	0	2	1	0	3
R10	2028	0	0	0	1	1	2	4
R11	2029	0	0	0	1	0	2	3
R12	2030	0	0	0	1	0	1	2
R13	2031	0	0	0	1	0	1	2
R14	2032	0	0	0	1	0	1	2
R15	2033	0	0	0	1	0	1	2
R16	2034	0	0	0	1	0	1	2
R17	2035	0	0	0	1	0	1	2

入園者数の推計は、0歳～5歳人口に占める入園者の比率（各年齢の実績平均）を0歳～5歳人口推計値にそれぞれ乗じて求めた。

入園率：0歳～5歳の人口に占める入園者数の比率（実績）

美甘		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0.00	0.00	1.00	1.00	0.50	1.00	0.69
R2	2020	0.00	0.50	0.00	1.00	1.00	0.67	0.67
R3	2021	0.00	0.00	0.50	0.00	1.00	1.00	0.67
R4	2022	0.00	0.00	1.00	0.50	0.00	1.00	0.60
R5	2023	0.00	1.00	0.00	1.00	0.50	0.00	0.43
R6	2024	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.67	0.63
R7	2025	0.00	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.56
平均		0.00	0.43	0.43	0.50	0.43	0.62	0.60



⑥ 湯原地域

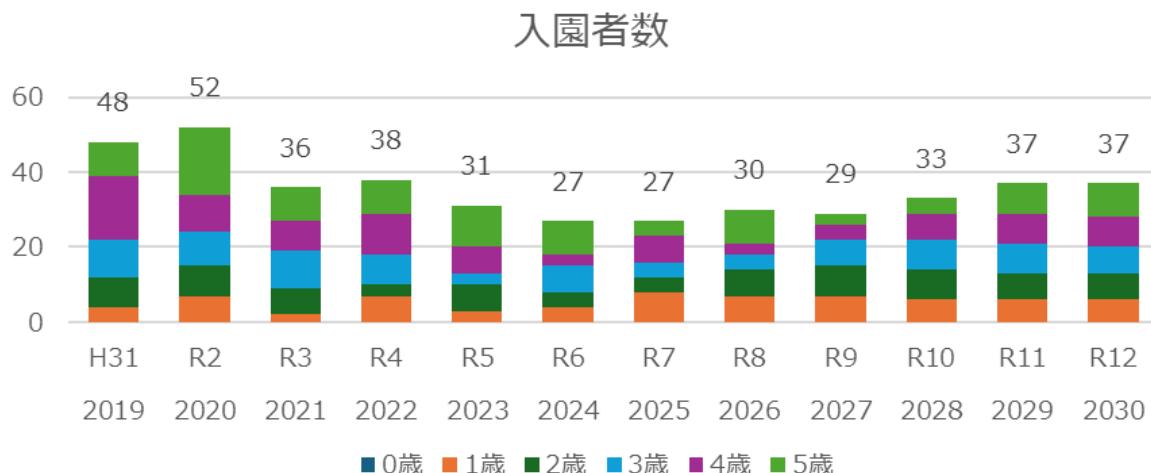
入園者数 (R8 (2026) 以降は推計値)

湯原		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0	4	8	10	17	9	48
R2	2020	0	7	8	9	10	18	52
R3	2021	0	2	7	10	8	9	36
R4	2022	0	7	3	8	11	9	38
R5	2023	0	3	7	3	7	11	31
R6	2024	0	4	4	7	3	9	27
R7	2025	0	8	4	4	7	4	27
R8	2026	0	7	7	4	3	9	30
R9	2027	0	7	8	7	4	3	29
R10	2028	0	6	8	8	7	4	33
R11	2029	0	6	7	8	8	8	37
R12	2030	0	6	7	7	8	9	37
R13	2031	0	5	7	7	7	9	35
R14	2032	0	5	6	7	7	8	33
R15	2033	0	5	6	6	7	8	32
R16	2034	0	5	6	6	6	8	31
R17	2035	0	5	6	6	6	7	30

入園者数の推計は、0歳～5歳人口に占める入園者の比率（各年齢の実績平均）を0歳～5歳人口推計値にそれぞれ乗じて求めた。

入園率：0歳～5歳の人口に占める入園者数の比率（実績）

湯原		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0.00	0.33	0.80	0.83	1.13	0.90	0.73
R2	2020	0.00	0.88	0.80	0.90	0.83	1.13	0.84
R3	2021	0.00	0.33	0.88	1.00	0.89	0.82	0.71
R4	2022	0.00	0.78	0.60	1.00	1.00	1.00	0.83
R5	2023	0.00	1.00	0.78	0.60	1.00	1.00	0.78
R6	2024	0.00	1.00	1.33	0.78	0.60	1.13	0.73
R7	2025	0.00	1.00	1.00	1.33	0.78	0.80	0.71
平均		0.00	0.76	0.88	0.92	0.89	0.97	0.76



⑦ 蒜山地域

入園者数 (R8 (2026) 以降は推計値)

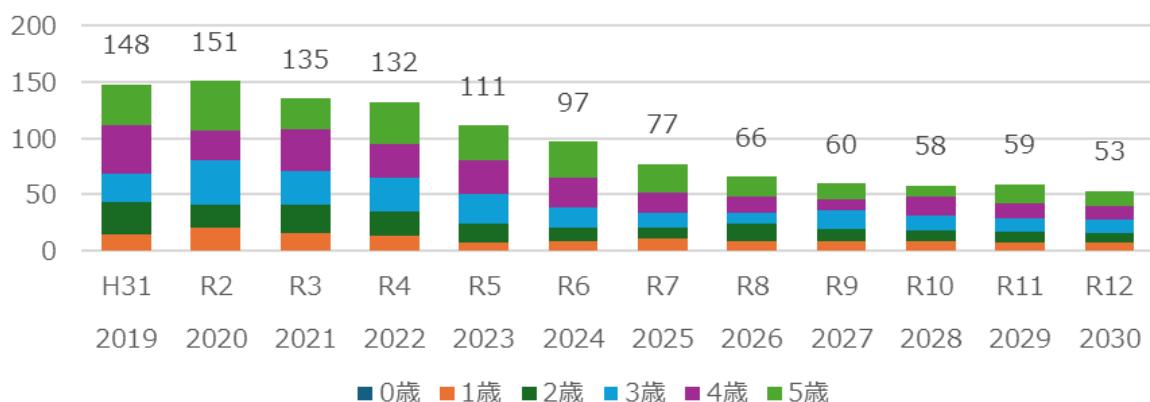
蒜山		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0	15	28	25	44	36	148
R2	2020	0	20	21	39	27	44	151
R3	2021	0	16	25	30	37	27	135
R4	2022	0	13	22	30	30	37	132
R5	2023	0	7	17	27	30	30	111
R6	2024	0	9	12	18	26	32	97
R7	2025	0	11	10	13	18	25	77
R8	2026	0	9	15	10	14	18	66
R9	2027	0	8	11	17	10	14	60
R10	2028	0	8	10	13	17	10	58
R11	2029	0	7	10	12	13	17	59
R12	2030	0	7	9	12	12	13	53
R13	2031	0	7	9	11	12	12	51
R14	2032	0	7	9	10	11	12	49
R15	2033	0	6	9	10	10	11	46
R16	2034	0	6	8	10	10	10	44
R17	2035	0	6	8	9	10	10	43

入園者数の推計は、0歳～5歳人口に占める入園者の比率（各年齢の実績平均）を0歳～5歳人口推計値にそれぞれ乗じて求めた。

入園率：0歳～5歳の人口に占める入園者数の比率（実績）

蒜山		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
和暦	西暦							
H31	2019	0.00	0.52	0.76	1.00	1.00	1.00	0.74
R2	2020	0.00	0.69	0.72	0.98	1.04	1.00	0.80
R3	2021	0.00	0.64	0.86	1.00	0.95	1.04	0.81
R4	2022	0.00	0.72	0.88	1.00	1.00	1.00	0.87
R5	2023	0.00	0.54	0.94	1.08	1.00	1.00	0.89
R6	2024	0.00	0.90	0.86	1.00	1.04	1.00	0.84
R7	2025	0.00	0.65	1.00	0.93	1.00	1.04	0.81
平均		0.00	0.66	0.86	1.00	1.00	1.01	0.82

入園者数



第3 幼児教育・保育施設の現状と課題

幼児教育・保育施設により、入園児数が数人から100人超と大きな差があり、園児数が数人で集団での教育・保育が困難な施設がある一方で、定員を超過し希望する施設に入園出来ない施設があります。

また、老朽化が進んでいる施設が多く、今後の改修・修繕費の増加が想定されます。

課題として、長期休暇がない幼児教育・保育施設では、大規模改修を行うことが難しいため、今後の園児数の見込みを予測しつつ、施設の長寿命化や建替、統廃合など検討する必要があります。

さらに、これまででも保育人材の不足も大きな問題となっているため、保育人材の確保が喫緊の課題となっています。

施設配置図(園)



真庭市幼稚園・保育園・こども園建築園数一覧

基準日：令和7年4月1日

番号	地域名	施設名	定員 (人)	建築年月	経年数 (年)	構造※	階数 (階)	面積 (m ²)
1	北房	北房こども園	180	H30.3	7	W	2	1,685
2	落合	美川こども園	90	H20.3	17	R	1	277
3				S57.2	43	R	1	340
4		木山こども園	80	S53.3	47	R	1	609
5		落合こども園	180	H19.3	18	R	1	1,507
6		天の川こども園	180	H27.3	10	W	1	1,659
				S58.3	42	R	1	279
		河内こども園	50	S29.12	71	W	1	318
7	久世	久世こども園	148	H9.2	29	S	1	999
8		米来こども園	50	H6.8	30	R	2	360
				R3.3	4	W	1	63
9				R3.3	4	S	1	9
10		久世第二保育園	80	S48.8	52	R	1	592
		草加部幼稚園(休園中)	20	H17.2	20	S	1	180
11	勝山	勝山こども園	180	S60.3	40	R	1	264
12				S54.3	46	R	1	913
13		月田保育園	60	S49.3	51	R	1	573
14	美甘	美甘こども園	60	S48.3	52	R	1	586
15	湯原	湯原こども園	75	H10.3	27	W	1	492
16	蒜山	中和保育園	30	S50.2	50	R	1	725
17		八束こども園	105	S51.11	48	S	1	1,137
18		川上こども園	110	S48.3	52	S	1	739

※構造

R=鉄筋コンクリート造

S=鉄骨造

W=木造

各施設の健全度

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上

■ : 概ね良好 ■ : 広範囲に劣化
■ : 部分的に劣化 ■ : 早急に対応する必要がある

通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震基準	劣化状況評価					健全度100点満点
							西暦	和暦			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
1	北房こども園	園舎	1	W	2	1,685	2017	H29	8	新	A	B	B	A	A	86
2	美川こども園	園舎	2	R	1	277	2007	H19	18	新	B	B	B	A	A	85
3	美川こども園	園舎	1	R	1	340	1981	S56	44	新	C	D	C	C	C	33
4	木山こども園	園舎	1	R	1	609	1977	S52	48	旧	B	B	B	C	C	61
5	落合こども園	園舎	1	R	1	1,507	2006	H18	19	新	C	B	B	A	A	83
6	天の川こども園	園舎	1,2,3	W	1	1,659	2014	H26	11	新	B	B	A	A	A	93
7	河内こども園	園舎	3-1,2,3,4	R	1	279	1983	S58	42	新	D	D	B	C	C	43
8	河内こども園	園舎	1,2	W	1	318	1954	S29	71	旧	D	C	C	C	C	38
9	久世こども園	園舎	1	S	1	999	1996	H8	29	新	B	B	B	B	B	75
10	米来こども園	園舎	1	R	2	360	1994	H6	31	新	B	B	B	B	B	75
11	米来こども園	園舎	2	W	1	63	2020	R2	5	新	A	A	A	A	A	100
12	米来こども園	園舎	3	S	1	9	2020	R2	5	新	A	A	A	A	A	100
13	久世第二保育園	園舎	1	R	1	592	1973	S48	52	旧	B	C	B	C	C	54
14	草加部幼稚園(休園中)	園舎	1	S	1	180	2004	H16	21	新	B	B	B	B	B	75
15	勝山こども園	園舎	2	R	1	264	1984	S59	41	新	B	B	B	C	C	61
16	勝山こども園	園舎	1	R	1	913	1978	S53	47	旧	B	C	B	B	B	67
17	月田保育園	園舎	1	R	1	573	1973	S48	52	旧	C	C	C	C	C	40
18	富原保育園(休園中)	園舎	1	S	1	616	1967	S42	58	旧	C	C	C	C	C	40
19	美甘こども園	園舎	1	R	1	586	1972	S47	53	旧	C	D	C	C	C	33
20	湯原こども園	園舎	1	W	1	492	1997	H9	28	新	B	B	B	B	B	75
21	中和保育園	園舎	1	R	1	725	1974	S49	51	旧	C	C	B	C	C	51
22	八東こども園	園舎	1	S	1	1,137	1976	S51	49	旧	C	C	B	C	C	51
23	川上こども園	園舎	1	S	1	739	1972	S47	53	旧	C	C	B	C	C	51

※建物の「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ」について目視調査を行い、「A～D」の4段階で評価しています。また、「電気設備」「機械設備」は部位の全面的な改修年度からの経年数を基本に「A～D」の4段階で評価しています。なお、設備の全面的な改修年度が不明、又は、未改修の場合は、建築年度からの経年数で評価しています。

(真庭市幼児教育・保育施設マネジメント基本方針より)

※なお、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上げ」の劣化評価は令和5(2023)年度調査結果を採用し、「電気設備」「機械設備」の劣化評価は基準年度を令和7(2025)年度に設定して再評価しました。

第4 つどいの広場の現状と課題

つどいの広場事業は、公営5箇所、民間2箇所の計7箇所で実施しており、引き続き事業を実施していく必要があります。施設の老朽化が課題となっている事業場所もありますが、当面は現施設で事業を継続して実施します。

番号	地域	名称	場所	開所日・開所時間
1	北房	ほくぼうほたるっこ [事業開始年月日： 平成30年4月1日]	北房振興局2階	月曜日～金曜日 9:30～15:30
2	落合	子育て支援の会サポートあい [事業開始年月日： 平成13年4月1日]	落合こども園内	月曜日～金曜日 月2回土曜開催 10:00～16:00
3	久世	くせ活き生きサロン [事業開始年月日： 平成14年4月1日]	くせ活き生きサロン	火曜日～土曜日 9:00～17:00
4	久世	子育て支援拠点ふわりん [事業開始年月日： 令和6年6月17日]	星のこども園内	月曜日～土曜日 のうち3日 10:00～15:00
5	勝山	勝山つどいの広場やまっこ [事業開始年月日： 令和5年4月1日]	勝山保険福祉センター2階	月曜日～金曜日 9:30～14:30
6	湯原	湯原つどいの広場 [事業開始年月日： 平成16年4月1日]	湯原つどいの広場	月曜日・水曜日・金曜日 9:30～16:00
7	蒜山	中和つどいの広場 [事業開始年月日： 平成17年4月1日]	中和保健センターあじさい	月曜日・水曜日・金曜日 8:30～16:00

第3章 前計画に基づく取組の成果

第1 幼児教育・保育施設

多様化する保護者の教育・保育ニーズに対応するため、こども園化や民間園の整備を行いました。また、令和5(2023)年度に真庭市幼児教育・保育施設マネジメント基本方針を策定しました。

1) 木山保育園のこども園化

落合地域で唯一こども園化できていない保育園で、令和2(2020)年度に屋根・外壁の大規模修繕を実施し、令和3(2021)年度から保育所型認定こども園として開園しました。

2) 米来幼稚園のこども園化

保育ニーズの増加により、園児数が横ばいで推移しており、令和2(2020)年度に保育室を増築し、令和3(2021)年度から幼保連携型認定こども園として開園しました。

3) 星のこども園の開園

民間の保育施設による、特色のある教育・保育を展開するため、令和6(2024)年度に星のこども園が開園しました。

4) 久世保育園の閉園

久世保育園は、昭和41(1966)年に建設された施設で、著しい老朽化が問題となっていました。

そのような中、久世保育園と久世第二保育園(昭和48(1973)年建設)の2つの機能を集約した、新しい保育施設を整備する方針となったことにより、令和5(2023)年度末に閉園しました。

第2 つどいの広場

令和5(2023)年に、勝山地域で公営のつどいの広場事業を開設し、令和6(2024)年に久世地域で民間の子育て支援拠点が開設されました。現在、市内7箇所で事業を行っています。

第4章 真庭市の教育・保育目標

1) 真庭市の目指す教育・保育目標

本市における乳幼児期の子育てを取り巻く環境は、少子化の進行、共働き世帯の増加、家族形態や働き方の多様化に伴い、大きく変化しています。

この変化は、社会全体で子育てを支える仕組みの必要性を一層高めています。

一方で、地域での人ととのつながり方が変化する中、子どもたちが地域で人々に見守られながら自然に集まって遊んだりと、異年齢・同年齢の子ども同士が関わり合う機会は少なくなっています。

こうした機会を意識的に創出していくことや、身近な人々と子育ての喜びや経験を共有し、保護者同士が相互に支え合える環境をつくることが、重要な課題となっています。

このような背景から、就学前の教育・保育施設(以下「保育施設」という。)における幼児保育の必要性は高まっており、子どもの健やかな育ちを支える上で、保育施設が果たすべき役割は、以前にも増して重要になっています。

そこで、平成26(2014)年に策定された真庭市保育カリキュラム全体構想を基に、令和2(2020)年に「真庭市保育カリキュラム基本の柱」を策定しました。

真庭市総合教育大綱「個性と能力を十分伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう「まち」と、真庭市の学校教育目標「確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成」の内容を踏まえ、市内の保施設統一の教育・保育目標を「のびのびと心豊かに意欲をもって生活する子どもの育成」としました。

乳幼児期に育ってほしい姿(育てたい姿)を「乳幼児期に育てたい三つの力」に分け、「いきいきと意欲をもった子ども」(しっかり遊び好奇心・探求心のある子どもに育てよう!)「のびのびと元気な子ども」(心身ともに健康でたくましい子どもに育てよう!)「にこにこと心豊かな子ども」(人と関わり思いやりのある子どもに育てよう!)とし、遊ぶ力、生きる力、関わる力の3点から、子どもの実態や課題にせまるための具体的な姿を示しました。

また、子どもの力を育む保育づくりについては、

- 一人一人の子どもの気持ちや状態に寄り添い、主体性や自己肯定感を大切にした保育づくり
- 遊びを通して発達段階に応じた学びができる環境や援助の工夫をした保育づくり
- 様々な体験を通して、興味や関心を引き出し、心を動かしながら遊び込むことができる保育づくり心を動かしながら興味や関心を引き出し、遊び込みができる保育づくりを基本の柱としました。

今後も必要に応じて適宜見直しを図ります。

真庭市保育カリキュラム基本の柱

〈真庭市総合教育大綱〉

個性と能力を十分伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう「まち」

〈真庭市の学校教育目標〉

「確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成」



〈真庭市内園統一教育・保育目標〉

「のびのびと心豊かに意欲をもって生活する子どもの育成」

(乳幼児期に育てたい三つの力)

いきいきと意欲をもった子ども

しっかり遊び好奇心・探求心のある子どもに育てよう！

のびのびと元気な子ども

心身ともに健康でたくましい子どもに育てよう！

にこにこと心豊かな子ども

人と関わり、思いやりのある子どもに育てよう！

遊ぶ力

生きる力

関わる力

- 身の回りの様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、工夫したり、試したりして遊ぶ。
- 考えたことや感じたことを自分なりの言葉を使って表現したり、伝え合ったりする。
- 経験したことを取り入れたり、物の性質や仕組みを活かしたりして遊ぶ。

- 食事、排せつ、衣服の着脱、身の周りを清潔にするなど自分でできることは自分でしようとする。
- 体を動かす遊びを見つけ、挑戦する面白さや、楽しさを味わう。
- 五感全てで環境に関わり、没頭して遊び込む。
- 食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。

- 友達と互いの良さや持ち味を感じながら、協力したり、考えを出し合ったりして、遊びを展開する。
- 互いに気持ちよく過ごすためにして良いこと、悪いことを考えて行動する。
- 様々な人への信頼感をもち、自分の思いや考えをのびのびと表現する。

幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿



健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり
思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・
感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現

子どもの力を育む保育づくり

- 一人一人の子どもの気持ちや状態に寄り添い、主体性や自己肯定感を大切にした保育づくり
- 遊びを通して発達段階に応じた学びができる環境や援助の工夫をした保育づくり
- 様々な環境を通して、興味や関心を引き出し、心を動かしながら遊び込むことができる保育づくり

まなぼう にこにこ わになつて のびのび育つ まにわの子



2) 教育・保育内容の充実

① 市内同一の教育・保育環境の整備

本市では、幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園・保育園型認定こども園など、しぐみの異なる保育施設が設置されているが、市内統一の教育・保育目標を基本とし、各地域の特性を生かしながら保育を行っています。

しかし、保育施設によって園児数が大きく異なっており、同年齢での集団保育を行うことが困難な地域もあるため、教育・保育環境の整備について見直しを図ります。

② 職員の資質向上

保育施設において、地域格差のない、一定水準の教育・保育を提供する為に、職員研修会（園長研修会、主任研修会、保育職研修会、調理員栄養士研修会、看護師研修会、保育補助員研修会）を開催し、資質の向上を図ります。

また、保育教諭相互において、保育の振り返りと改善のための研究会を開催するなど、保育職として専門性を高め合える環境及び体制の整備に努めます。

③ 乳児保育の充実

核家族化、共働き家庭の増加に伴い、0歳児保育の需要が高まっているが、本市では0歳児保育を実施している保育施設は、公立3園、私立2園のみであり、必ずしも十分な保育環境が整備されているとはいえない状況にあります。

保育環境の充実に向け、検討を図ります。

また、乳児保育において、一人一人を大切にした保育の在り方を学ぶ機会や、保育教諭相互で専門性を高め合える機会を増やし、乳児保育の充実を図ります。

④ 小学校との連携の推進

保育施設における就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、平成31(2019)年3月に「真庭市保幼小接続カリキュラム」を策定しました。

また、保育施設の保育教諭と小学校・中学校の教員での合同研修会を年2回開催し、接続に向けた共通理解、園児・児童理解を高める取り組みを継続して行います。

⑤ 支援の必要な子ども等への支援体制

保育施設において、障がいのある子ども、支援の必要な子どもが、集団の中で発達や成長が促されるよう、関係機関（発達発育支援センター、こども家庭センター、真庭地域生活支援センター、児童相談所等）と緊密な連携を図りながら、インクルーシブ保育等更なる保育の充実に努めます。

⑥ 医療的ケア児の保育への支援体制

本市では、「真庭市医療的ケア児ガイドライン」を策定し、安全に集団保育ができる受け入れ体制の整備を図ります。

また、関係機関と緊密に連携を図りながら、医療的ケア児の保育の充実に努めます。

⑦ 園開放、園庭開放の充実

すべての保育施設において、未就園児を対象とした園開放を行っており、継続して園児と未就園児が触れあう場の提供や、子育てに関するアドバイス、情報提供等を行います。

また、休日に園庭を開放することにより、子どもが安心して外遊びできるよう環境の整備を進めており、遊び場の充実を図ります。

⑧ 一時保育事業の充実

一時保育事業については、慢性的な保育教諭の不足等により、必ずしも利用者の希望に応えられない場合があることから、保育施設が相互に情報共有しながら、受け入れ体制の整備に努めます。

⑨ 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施

未就園児が、同世代の子どもとの交流や子どもの成長を促す事ができるよう、受け入れ体制の整備に努め、未就園の子どもと子育て支援を図ります。

⑩ 評価による教育・保育の見直し

教育・保育内容については、これまでどおり評価・見直しを継続して行い、教育・保育の充実を図ります。

また、幼稚園・幼保連携型認定こども園においては、評議委員による第三者評価及び職員による自己評価、保護者アンケート等を踏まえた評価を、保育園・保育園型認定こども園においては、自己評価、保護者アンケートを踏まえた評価を継続して行います。

評価はホームページに掲載し、引き続き周知を図ります。

第5章 施設整備の基本的な計画・方針

第1 幼児教育・保育施設

施設整備の検討にあたっては、子どもの多様な育ちを支援し多様化する保護者の教育・保育ニーズにも配慮することを基本としながら、今後の園児数の動向、施設の老朽化及び安全性を重要な指標とともに、市財政、地域的、地理的などの様々な条件についても考慮したうえで、市としての個別の整備方針を示し、具体化にあたっては地域住民と協議を行っていきます。

真庭市の目指す教育・保育目標である「のびのびと心豊かに意欲をもって生活する子どもの育成」が実現でき、乳幼児期の子どもの育ちを保障していくことができる環境の整備に向けて基準を設定します。

また、老朽化した施設の改善および集約化による効率的な施設整備は、保育教諭の働きやすい環境の整備にもつながり、保育人材の確保・定着を図ることができます。

1) 北房こども園（平成 30(2018)年築）

平成 30(2018)年度に幼稚園 3 園と保育園 2 園を統合し開園しました。園児数は減少傾向にありますが、北房地域にある唯一の保育施設であり、長寿命化を図りながら存続します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	168	165	152	141	122	101	89

2) 美川こども園（昭和 57(1982)年、平成 20(2008)年築）

平成 30(2018)年の園児数 87 人をピークに緩やかに減少傾向にあります。

旧保育園舎の老朽化が進んでいますが、通園可能な距離に他の保育施設はないため、長寿命化を図りながら存続します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	87	84	78	80	81	67	59

3) 落合こども園（平成 19(2007)年築）

平成 19(2007)年度に白梅保育園と落合中央幼稚園を統合し開園しました。

近年は園児数が減少しており、定員数を大幅に下回っています。今後は長寿命化を図りつつ、園児数の状況により、木山こども園や河内こども園との再編を検討します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	160	174	157	145	139	120	110

4) 河内こども園（昭和 29(1954)年、昭和 58(1983)年築）

園児数は減少傾向にあります。また、施設の老朽化が進んでおり、特に旧幼稚園舎は築70年を経過しているため早急に対応する必要があります。当面、長寿命化を図りながら存続する方針としますが、今後の園児数の状況により、近隣の保育施設との再編を検討します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	42	43	39	28	28	30	26

5) 天の川こども園（平成 28(2016)年築）

平成 28(2016)年度にひまわり保育園、天津幼稚園、川東幼稚園を統合し開園しました。

開園当初から入園希望者が多く、園児数も大きな変動がありません。

市内で最も園児数が多い保育施設で、今後も長寿命化を図りながら存続します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	194	182	186	178	166	167	172

6) 木山こども園（昭和 53(1978)年築）

令和 2(2020)年度に屋根防水工事、外壁塗装等の改修工事を行い、令和 3(2021)年度から木山保育園を木山こども園に変更しました。園児数は減少傾向にあるため、今後の園児数の状況により、落合こども園との再編を検討します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	66	62	63	64	68	60	53

7) 久世こども園（平成9(1997)年築）

保育ニーズに対応するため、平成29(2017)年9月に久世幼稚園を久世こども園に変更しました。これまで減少傾向にあった園児数は、2号認定児の受入開始以降、ほぼ横ばいで推移しており、今後も長寿命化を図りながら存続します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	95	89	126	112	98	99	103

8) 米来こども園（平成6(1994)年、令和3(2021)年築）

令和2(2020)年度に保育室を増築し、令和3(2021)年度から米来幼稚園を米来こども園に変更しました。これまで減少傾向にあった園児数は、2号認定児の受入開始以降、ほぼ横ばいで推移していますが、今後の園児数の状況により、近隣の保育施設との再編を検討します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	14	10	17	10	10	28	25

9) 久世第二保育園（昭和48(1973)年築）

令和9(2027)年4月に開園を予定している、新設こども園の開園と同時に閉園します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	108	112	105	100	83	87	91

10) 草加部幼稚園（平成17(2005)年築）

令和6(2024)年度から休園としていますが、入園希望者がいないため、令和7(2025)年度末をもって閉園とします。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	6	8	4	5	7	2	-

11) 勝山こども園（昭和54(1979)年、昭和60(1985)年築）

平成23(2011)年度に勝山保育園を勝山こども園に変更しました。園児数はほぼ横ばいで推移していますが、今後は減少が見込まれます。また、本施設も含め、近隣の保育施設も老朽化が進んでいるため、それらを統合した新しい保育施設の建設を検討します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	140	134	141	135	156	125	126

12) 月田保育園（昭和 49(1974)年築）

園児数は減少傾向にあり、施設の老朽化が進んでいます。今後の園児数の状況により、近隣の保育施設との再編を検討しますが、当面、長寿命化を図りながら存続します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	30	31	27	21	18	16	20

13) 富原保育園（昭和 43(1968)年築）

園児数の減少に伴い、令和 7(2025)年度から休園としていますが、令和 8(2026)年度の入園希望者がいないため、令和 7(2025)年度末をもって閉園とします。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	17	13	14	12	11	11	4

14) 美甘こども園（昭和 48(1973)年築）

近年、園児数が大幅に減少しており、施設の老朽化も進んでいますが、美甘地域にある唯一の保育施設であるため、美甘小学校内へ移転し存続します。（令和 9(2027)年 4 月移転予定）

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	17	10	7	5	4	5	6

15) 湯原こども園（平成 10(1998)年築）

平成 28(2016)年度に二川へき地保育所と統合しました。園児数は減少傾向にあります
が、湯原地域にある唯一の保育施設であり、長寿命化を図りながら存続します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	50	53	53	41	39	34	31

16) 中和保育園（昭和 50(1975)年築）

園児数はほぼ横ばいで推移していますが、施設の老朽化が進んでいます。

今後の園児数の状況により、近隣の保育施設との再編を検討しますが、当面、長寿命化を
図りながら存続します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	14	13	10	9	9	10	10

17) 八束こども園（昭和 51(1976)年築）

平成 25(2013)年度に実施した耐震診断では、耐震性が不十分と判定されており、早急な
対応が必要となっています。しかし、園を運営しながら耐震工事を行うことは困難な状況
にあります。近年は園児数が減少傾向にあることから、川上こども園と統合した、新しい保
育施設の建設を検討します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	84	87	90	81	75	59	45

18) 川上こども園（昭和 48(1973)年築）

平成 26(2014)年度に実施した耐震診断では、耐震性が不十分と判定されており、早急な
対応が必要となっています。しかし、園を運営しながら耐震工事を行うことは困難な状況
にあります。近年は園児数が減少傾向にあることから、八束こども園と統合した、新しい保
育施設の建設を検討します。

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
入園児数	61	64	62	62	57	50	49

第2 つどいの広場

つどいの広場は、子育て親子の交流の場であるとともに、子育てに関する相談の場としての役割を担っており、子育て世代にとって必要不可欠な拠点となっています。

今後も施設の存続を図りつつ、NPO 法人等の育成による多様な主体の参画や、子育て中の当事者同士の支え合いを促進することで、地域の子育て力の向上を目指し、より身近で利用しやすい場所としていきます。

第3 各地域の施設整備計画

施設整備の基本的な計画・方針を踏まえ検討した施設整備計画は次のとおりです。

各地域の施設整備計画

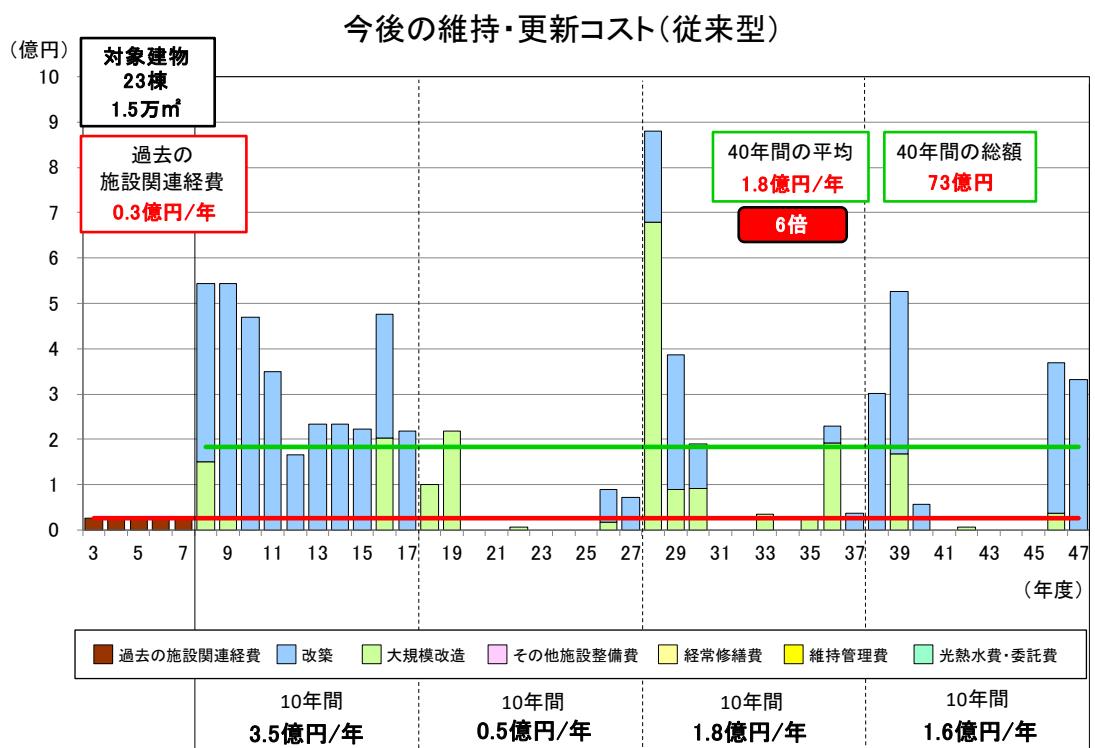
地域	施設名	今期計画期間				
		R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
北房	北房こども園			存続		
落合	美川こども園			存続		
	木山こども園			園児数の状況等により再編を検討		
	落合こども園			存続		
	天の川こども園			存続		
	河内こども園			当面、施設を存続し、必要が生じた場合は再編を検討		
久世	久世こども園			存続		
	久世第二保育園		R9.3.31閉園			
	久世第二こども園（仮称）	整備中		R9.4.1開園予定		
	(私) 星のこども園					
	(私) 愛慈園					
	草加部幼稚園	R8.3.31閉園				
勝山	米来こども園			園児数の状況等により再編を検討		
	勝山こども園			建替を検討		
	月田保育園			当面、施設を存続し、必要が生じた場合は再編を検討		
	富原保育園	R8.3.31閉園				
美甘	美甘こども園	整備		美甘小学校内へ移転し存続		
湯原	湯原こども園			存続		
蒜山	八束こども園			統合を検討		
	川上こども園			統合を検討		
	中和保育園			当面、施設を存続し、必要が生じた場合は再編を検討		

第6章 施設整備費

第1 施設整備費の見通し

1) 今後の維持・更新コスト（従来型：すべて維持する場合）

令和8(2026)年度から令和47(2065)年度までの40年間で必要な維持・更新費用は約73億円となります。既に従来の耐用年数である50年を迎える幼児教育・保育施設は、令和8(2026)年度から令和17(2035)年度にかけて、常にいづれかの施設が改築時期を迎える状態となっており、特に令和8(2026)年度から令和17(2035)年度の直近の10年間は平均して毎年約3.5億円の改築費用が必要であることがわかります。



資料：文部科学省「コスト試算ツール（令和5年版）」により作成

【表：従来型の維持・更新コストの計算条件】

改築 (建替え)	<ul style="list-style-type: none"> 築後50年で同規模建替え、改築工事期間は2年 なお、改築時期を既に経過している場合は10年間で実施 改築単価：400,000円/m² <p>※単価は、文部科学省「コスト試算ツール（令和5年版）」の初期値を採用</p>
大規模改築	<ul style="list-style-type: none"> 20年周期、工事期間は1年 大規模改築単価：100,000円/m² <p>※単価は、文部科学省「コスト試算ツール（令和5年版）」の初期値を採用</p>

2) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型：施設整備計画を反映）

施設整備の基本的な計画・方針を踏まえ検討した施設整備計画について、今後の維持・更新コストを試算します。

【表：長寿命化型の維持・更新コストの計算条件】

改築 1 (建替え) 対象施設	<ul style="list-style-type: none"> ・築後 80 年で同規模建替え、改築工事期間は 3 年 ・改築時期を既に経過している場合は 5 年以内で実施 ・改築単価：400,000 円/m² <p>※単価は、文部科学省「コスト試算ツール（令和 5 年版）」の初期値を採用</p>
改築 2 (建替え) 対象外施設	<ul style="list-style-type: none"> ・築後 60 年で同規模建替え、改築工事期間は 2 年 ・改築時期を既に経過している場合は 5 年以内で実施 ・改築単価：400,000 円/m² <p>※単価は、文部科学省「コスト試算ツール（令和 5 年版）」の初期値を採用</p>
解体 (除却)	<ul style="list-style-type: none"> ・築後 60 年で解体、工期間は 1 年 ・解体費 40,000 円/m² <p>※単価は、文部科学省「コスト試算ツール（令和 5 年版）」の初期値を採用</p>
大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> ・20 年周期、工事期間は 1 年 ・大規模改造単価：100,000 円/m² <p>※単価は、文部科学省「コスト試算ツール（令和 5 年版）」の初期値を採用</p>
長寿命化 改修	<ul style="list-style-type: none"> ・築後 40 年後に実施、工事期間は 2 年 ・改修時期を既に経過している場合は 10 年以内で実施 ・大規模改造単価：240,000 円/m² <p>※単価は、文部科学省「コスト試算ツール（令和 5 年版）」の初期値を採用</p>

- ・文部科学省「コスト試算ツール（令和 5 年版）」では、建物における劣化状況評価が「C」又は「D」の場合、部位修繕費を計上することとしています。
- ・部位劣化状況評価が「C」評価の場合には、今後 5 年間（均等割）で該当部位の修繕費を計上します。ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後 10 年以内に実施する場合は費用計上しません。
- ・部位劣化状況評価が「D」評価の場合には、今後 3 年間（均等割）で該当部位の修繕費を計上します。
- ・部位劣化状況評価が「A」の場合、今後 10 年以内に予定する長寿命化改修費用から、該当部位の修繕費を差し引きます。

3) 各施設の整備計画とコスト試算条件

各地域の施設整備計画

地域	施設名	今期計画期間					備考 コスト計算上 の処理
		R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	
北房	北房こども園			存続			長寿命化
	美川こども園			存続			長寿命化
	木山こども園			園児数の状況等により再編を検討			長寿命化
落合	落合こども園			存続			長寿命化
	天の川こども園			存続			長寿命化
	河内こども園			当面、施設を存続し、必要が生じた場合は再編を検討			長寿命化
	久世こども園			存続			長寿命化
	久世第二保育園		R9.3.31閉園				用途廃止のみ、コスト計上なし、除却なし
	久世第二こども園（仮称）	整備中		R9.4.1開園予定			長寿命化
久世	(私) 星のこども園						民間施設につき試算対象外
	(私) 愛慈園						民間施設につき試算対象外
	草加部幼稚園	R8.3.31閉					用途廃止のみ、コスト計上なし、除却なし
	米来こども園		園児数の状況等により再編を検討				長寿命化
	勝山こども園			建替を検討			建替、長寿命化
勝山	月田保育園		当面、施設を存続し、必要が生じた場合は再編を検討				長寿命化
	富原保育園		R8.3.31閉園				用途廃止のみ、コスト計上なし、除却なし
美甘	美甘こども園	整備		美甘小学校内へ移転し存続			用途廃止 除却なし
湯原	湯原こども園			存続			長寿命化
	八束こども園			統合を検討			八束園、川上園は用途廃止のみ、コスト計上なし、除却なし、新設園は八束園と同規模で長寿命化
	川上こども園			統合を検討			
	中和保育園		当面、施設を存続し、必要が生じた場合は再編を検討				長寿命化

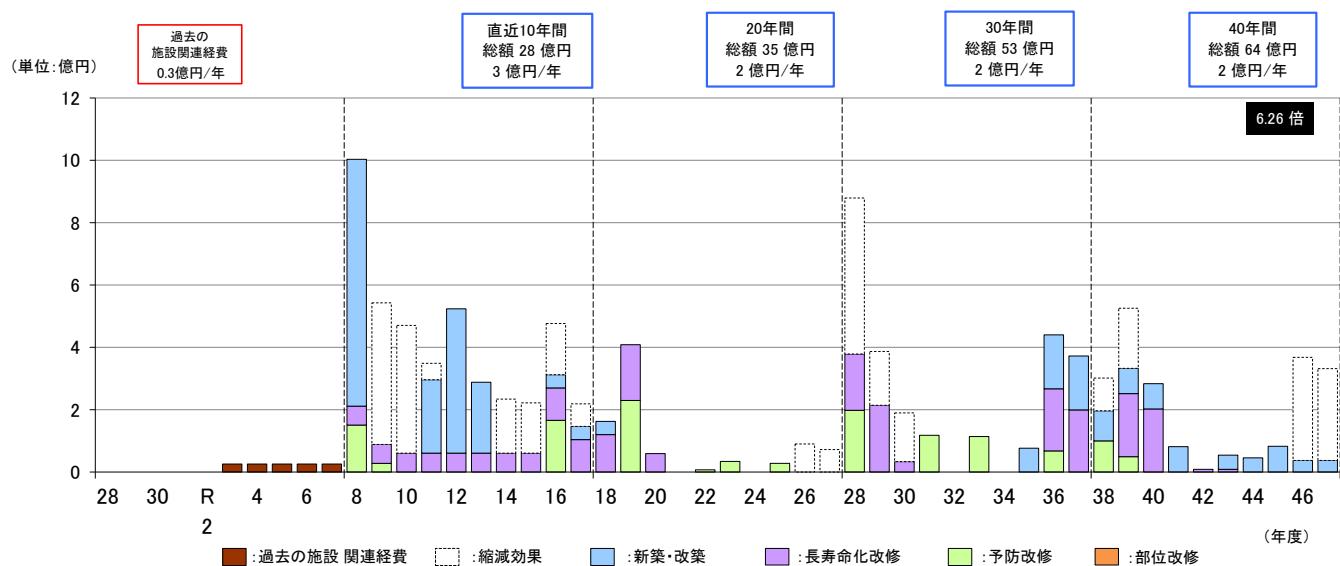
4) コスト試算結果（長寿命化型：施設整備計画を反映）

試算結果では、50 年で改築を行う従来手法と比べ、施設の長寿命化と再編や廃止などを試算に反映したことにより、施設の整備費は 40 年間総額で 64 億円を要すると試算されます。これは、従来型の施設整備費 73 億円と比べて約 9 億円の縮減が期待されます。

また、今回検討した施設整備計画では、「当面、施設を存続し必要が生じた場合は再編を検討する」としている「こども園」が 6 施設あり、これら施設については、長寿命化改修を行い維持する条件でコスト試算を行っています。

今後は、出生数の推移なども考慮しながら、例えば、小学校の空き教室の活用等による施設の複合化や複数の園の集約等によって施設数を削減するなど、総コストを更に縮減する視点で検討していくことが必要です。

【維持・更新コスト（長寿命化型：施設整備計画を反映）】



資料：文部科学省「コスト試算ツール（令和 5 年版）」により作成

第7章 マネジメントの継続的運用方針

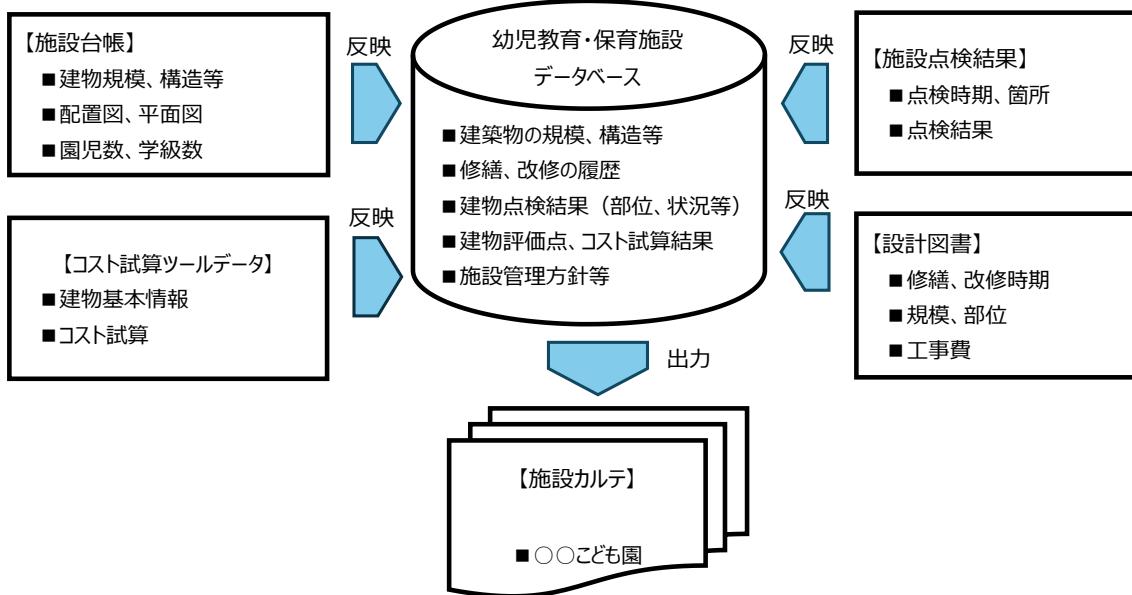
第1 情報基盤の整備と活用

幼児教育・保育施設に関する基礎的な情報として、園児数、建築の面積、構造、建築年等について、幼稚園、こども園（幼保連携型）に関しては学校施設台帳において整理されていますが、保育園、こども園（保育所型）に関しては統一的な整理がされていない状況にあります。

今後、各施設の状況を把握し、統一的な整理を行うためには、学校施設台帳に合わせて基本情報の整理および改修・修繕履歴や施設点検の結果等の情報を保存、整理することが大切です。

なお、これら情報における様式の統一化、データベース化により全庁的に一元管理し、効率的な施設管理を推進し、基本的な修繕・改修等に役立てるように取り組むものとします。

【幼児教育・保育施設情報管理のイメージ】



第2 推進体制等の整備

幼児教育・保育施設の長寿命化を推進するためには、定期的な維持管理、点検等による異常個所の早期発見、計画的な予防保全の実施など、様々な取り組みが必要となります。

また、今後の園児数の推移等に合わせて、幼児教育・保育施設だけでなく、市が保有する施設との複合化等についても検討が必要となってきます。

長寿命化の実施にあたっては、子育て支援課だけでなく、関係課と工事・修繕履歴や点検結果等の情報を共有しながら、改修時期や工事費用について調整を図ることが必要です。

さらに、施設の複合化、転用等の全庁的なアセットマネジメントの推進に向けて、公共施設を所管する関係課とも連携を図ることも重要です。

【長寿命化に向けた推進体制】



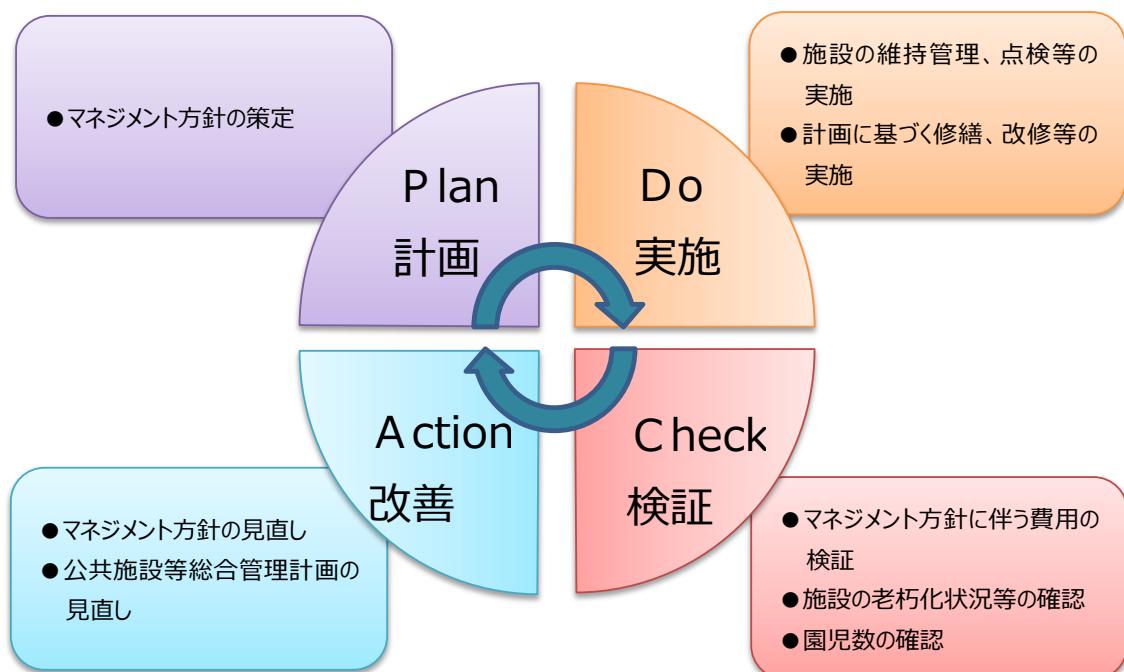
第3 フォローアップ

本方針に基づき、施設整備を実現させていくためには、長寿命化改修、改築等に多額の費用が必要となることから、本方針の対象施設以外も含めた全庁的な施設から見た整備順位や予算措置等の調整を図りながら、幼児教育・保育施設の長寿命化を推進していく必要があります。

このようなことから、概ね10年ごとに総合的な検証として、工事実施時期や改修・改築等に要した工事費用等の精査を行い、本方針との大幅な乖離が生じた場合など、必要に応じて本方針の見直しを行います。

また、施設の老朽化の進行状況の変化や園児数の変化等に伴い本方針の見直しの必要性が生じた場合等にも適宜、見直しを行うこととします。

【PDCAサイクル】



第8章 参考資料 アンケート調査結果

～真庭市こども計画アンケート調査結果（令和6（2024）年12月）より抜粋～

1 アンケート調査概要

「真庭市こども計画」の策定にあたっては、こども・若者、子育て世帯の生活状況や意見を把握し、計画策定のための基礎資料とするため、計画対象のこども・若者、子育て世帯のニーズを図ることを目的としてアンケート調査を実施しました。

（1）調査対象者と調査方法

調査種別	項目	内容
未就学児童保護者向けアンケート	対象者数	市内在住の未就学児童保護者 700 人
	抽出方法	住民基本台帳から上記対象世帯を母集団として系統抽出方法により抽出
	調査方法	WEB アンケートにて実施
	調査時期	令和6（2024）年7月18日～令和6（2024）年7月31日
	回答者数 回答率	259 件（回答率：37.00%）
就学児童保護者向けアンケート	対象者数	市内在住の就学児童保護者 700 人
	抽出方法	住民基本台帳から上記対象世帯を母集団として系統抽出方法により抽出
	調査方法	WEB アンケートにて実施
	調査時期	令和6（2024）年7月18日～令和6（2024）年7月31日
	回答者数 回答率	254 件（回答率：36.28%）
若者（18～40歳未満）向けアンケート	対象者数	市内在住の18歳から40歳未満の男女 2,000 人
	抽出方法	住民基本台帳から上記対象世帯を母集団として系統抽出方法により抽出
	調査方法	WEB アンケートにて実施
	調査時期	令和6（2024）年7月12日～令和6（2024）年8月16日
	回答者数 回答率	419 件（回答率：20.95%）
小学生向けアンケート	対象者数	市内の小学校通学の小学5年生 317 人
	抽出方法	市内の小学校通学の全小学5年生
	調査方法	WEB アンケートにて実施
	調査時期	令和6（2024）年7月1日～令和6（2024）年7月19日
	回答者数 回答率	273 件（回答率：86.12%）

中学生向けアンケート	対象者数	市内の中学校通学の中學2年生 344人
	抽出方法	市内の中学校通学の全中学2年生
	調査方法	WEBアンケートにて実施
	調査時期	令和6(2024)年7月1日～令和6(2024)年7月19日
	回答者数 回答率	295件 (回答率: 85.76%)

(2) アンケート設問と回答方法及び集計方法

アンケート各設問に対し、単純集計を行い、さらにクロス集計を行い、グラフ等を用いて分析しています。

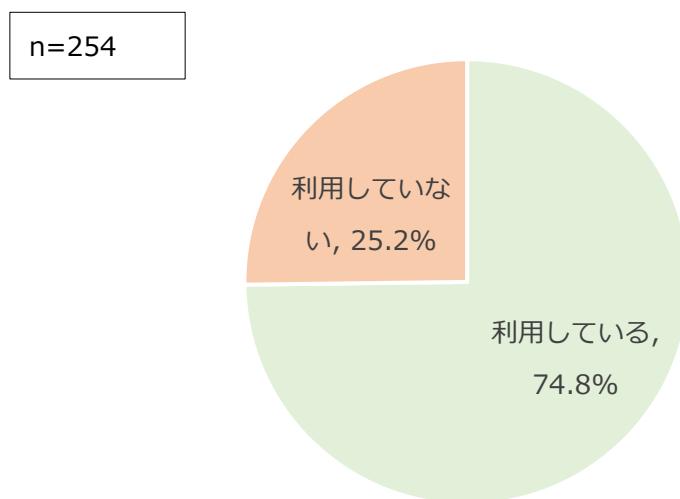
集計図表等を読む際の留意点は次のとおりです。

- 比率(%)はすべて百分率で表し、表示単位未満を四捨五入しているため比率の数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 無回答は省いています。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答に対し、いずれも割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の選択肢表記について、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次のとおりです。
 - ・n: 質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数

■平日（月曜日から金曜日）の定期的な教育・保育の利用状況について

問 27 あて名のお子さんは現在、平日に保育園・認定こども園をご利用されていますか。（あてはまるもの一つに◎）

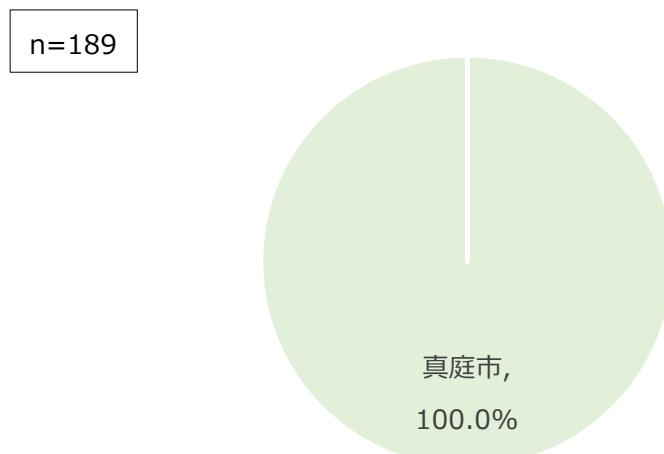
「利用している」が 74.8%、「利用していない」が 25.2%となっています。



問 27 で「利用している」とお答えの方にお聞きします。

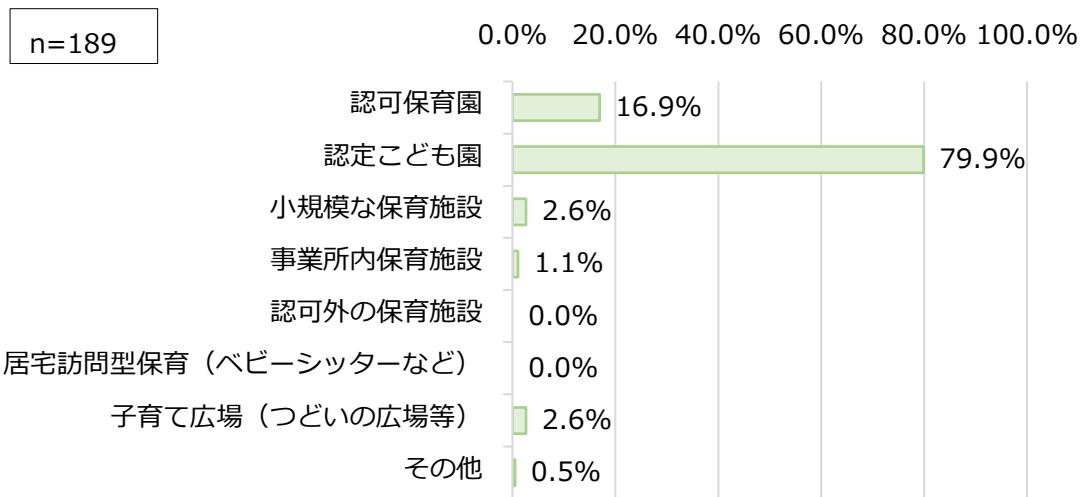
問 28 現在ご利用の保育園・認定こども園の場所は、いずれでしょうか。（あてはまるもの一つに◎）

「真庭市」で 100%となっています。



問 29 あて名のお子さんは、平日どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じてご利用の内容をお答えください。(あてはまるものすべてに団)

「認定こども園」が 79.9%となっています。



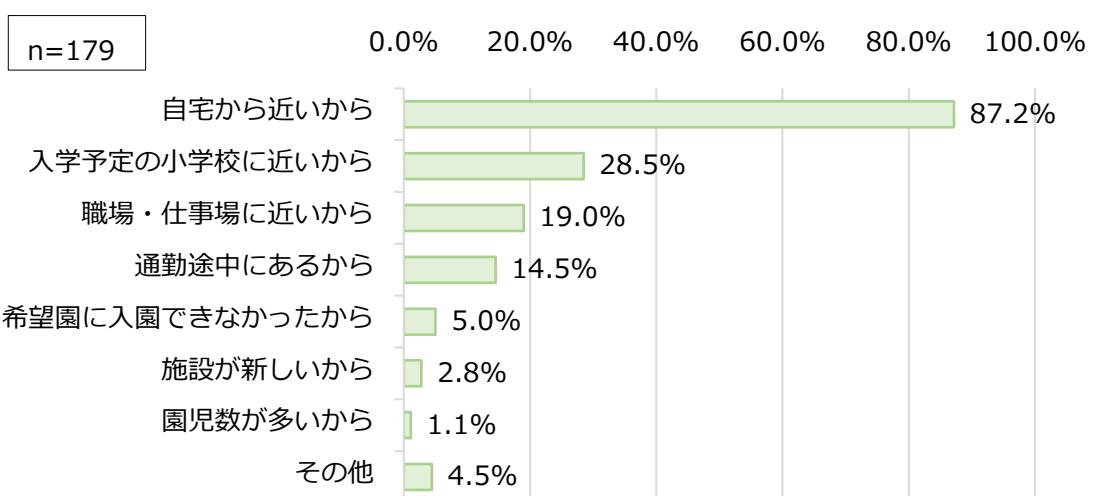
その他：

- ・児童発達支援。

問 29 で「認可保育園」、「認定こども園」のいずれかをお答えの方にお聞きします。

問 30-1 現在利用されている施設を選んだ理由をお答えください。(あてはまるものすべてに☑)

「自宅から近いから」が 87.2%、「入学予定の小学校に近いから」が 28.5%、職場・仕事場に近いから」が 19.0%となっています。

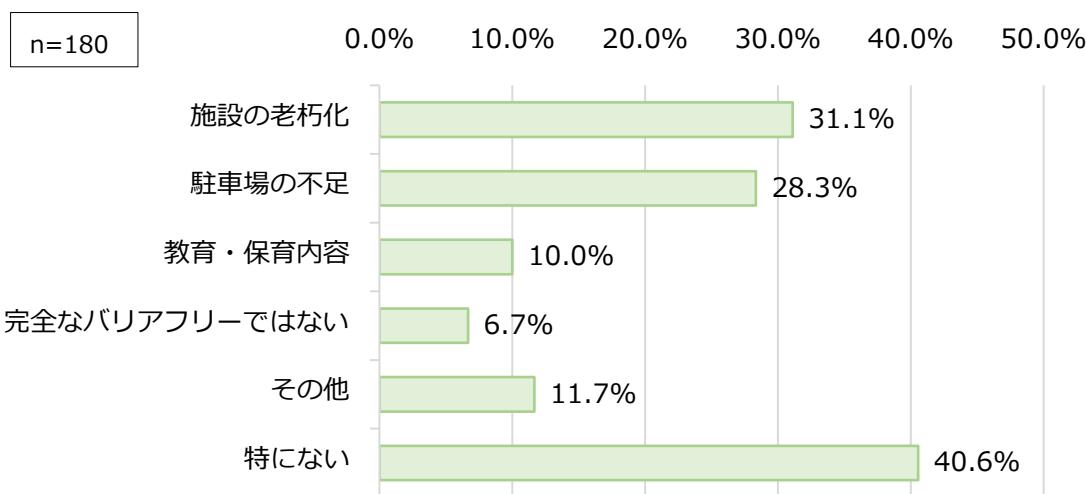


その他：

- ・発達支援に理解がある。
- ・選択肢がそくらいしかなかったから。
- ・環境がよい。
- ・上の子たちが通っていて良かったから。
- ・久世保育園が閉園のため。
- ・保育内容、理念等、法人の考え方と共に感した為。真庭市の公立園が嫌だったから。
- ・満一才から預けられる園の中で一番近所。
- ・兄が通っていたから。

問 30-2 現在利用されている施設で気になることをお答えください。(あてはまるものすべてに団)

「施設の老朽化」が 31.1%、「駐車場の不足」が 28.3%、「教育・保育内容」が 10.0%の順となっています。



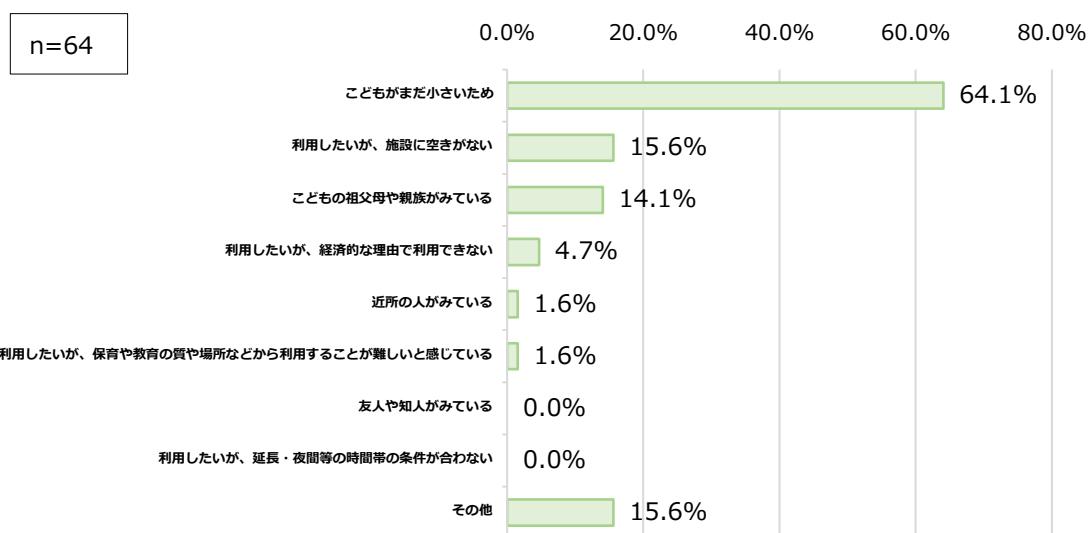
その他：

- ・遊具が少ない。園庭が狭い。
- ・園児数が多い園のため、こども一人ひとりをしっかりみてもらっているのか不安がある。
- ・途中の道が狭い。
- ・駐車場が止めにくい。
- ・職員の資質が低い。
- ・網戸が無いこと。
- ・人数不足。
- ・こども園の老朽化を何とかしてほしい。
- ・水遊びの子どものシステムが入れないとだけ連絡に変えられないのか。
- ・保育教諭さんの忙しさ・待遇改善。
- ・階段が滑りやすい。
- ・プールがないため、バスでプールがある小学校まで移動しているのを見るが、最近は事故や園児の降車確認不足による死亡例などがある為、不安に思う部分はある。
- ・土砂崩れの危険性。
- ・周辺の道路環境が悪い。
- ・冷暖房の管理が小学校でしか出来ない。
- ・園周辺の整備がなっていない。
- ・園庭の狭さ。
- ・先生が変わると流れが極端に変わることがある。
- ・給食の内容がお粗末。
- ・人員不足。
- ・遊具少ない。

問 27 で「利用していない」とお答えの方にお聞きします。

問 31 平日に保育園・認定こども園を利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに☑)

「子どもがまだ小さいため」が 64.1%、「利用したいが、施設に空きがない」が 15.6%、「子どもの祖父母や親族がみている」が 14.1%の順となっています。

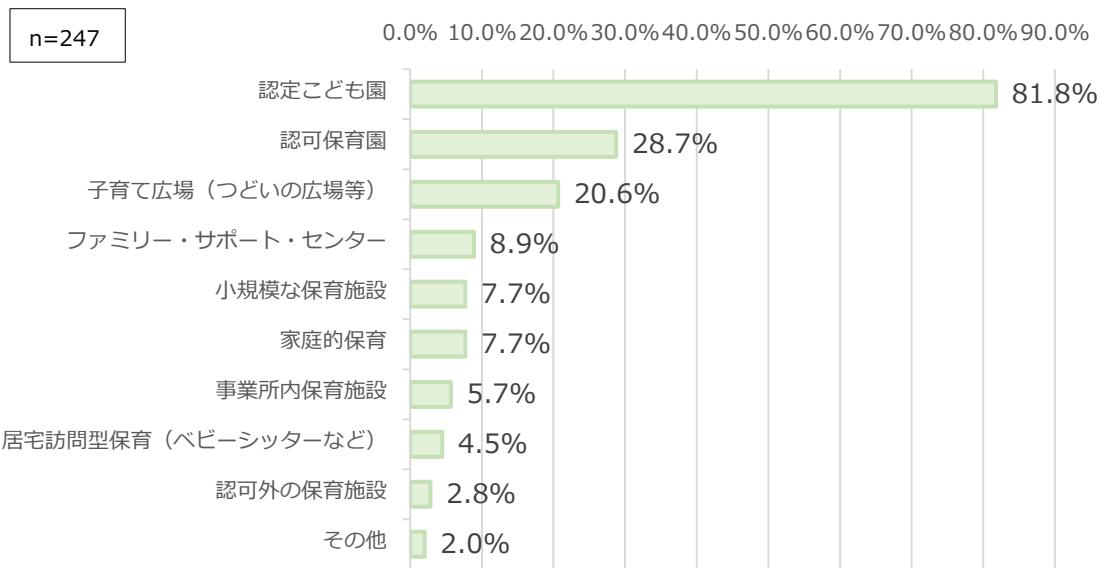


その他：

- ・母が育児休業中のため。
- ・転勤族のため、保育園を退園することになるため。
- ・まだ 0 歳だから。
- ・まだ仕事が決まっていない。
- ・育休中で満 1 歳になっていない。
- ・育児休業。
- ・母親が育児休業中で、復帰後は保育所を利用予定。
- ・自分でみている。

問32 現在、ご利用している・していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育として、毎日のように利用したいとお考えの施設やサービスについて、お答えください。(あてはまるものすべてに図)

「認定こども園」が81.8%となっています。

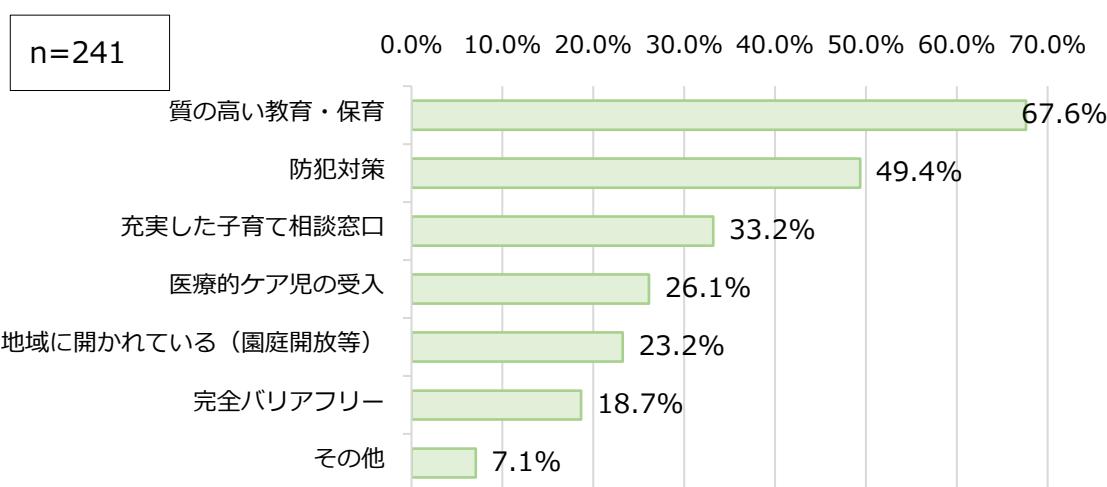


その他：

- ・病児保育おひさま。
- ・公園。
- ・病気時の保育。
- ・体調面でも安全な屋内外遊び場。
- ・真庭市には子育て支援センターがありません。ファミリー・サポート・センターもありません。産後1年を過ぎると支援の手がほとんどありません。一時預かり機能のある、子育て支援センターが必要です。

問33 今後のことども園・保育園で必要と思われる内容について、お答えください。(あてはまるものすべてに図)

「質の高い教育・保育」が67.6%、「防犯対策」、「充実した子育て相談窓口」が33.2%の順となっています。



その他：

- ・障がい児や支援が必要な子への適切な対応。
- ・柔軟な預かり時間や曜日。
- ・少人数保育。
- ・子どもの特性に合わせた対応ができること。(遊び方や過ごし方の多様化、そのための十分な保育教諭の確保。)
- ・安全安心できる。
- ・保育教諭さんの人数、待遇改善。
- ・保育教諭の増員。または保育教諭の無駄な仕事を減らすことで、保育教諭への負担を減らすこと。
- ・病児保育。
- ・保育者の数に余裕があること、ちょっとした道具の準備ならボランティアで手伝いたいです。
- ・保育教諭の増員、待遇、地位改善。

問 34 今後、真庭市が保育園・認定こども園の整備を検討していくうえで、施設の老朽化の対応など、教育・保育環境の改善が必要な公立施設について、どのような方針で検討すべきとお考えかお答えください。(あてはまるもの一つに○)

「対象施設の近くに建て替える」が 32.1%、「対象施設の近くにある施設の状況をふまえ新たな施設を建設して統合する」が 28.1%、「対象施設の改修・修繕を行う」が 25.3%となっています。なお、「民間の事業者に任せる」は 3.6%となっています。

